愛國婦人

毎月二回 五日廿日發行

發行所 東京麹町區（牛ケ淵公園） 愛國婦人發行所

印刷兼發行人 山澤俊夫

編輯人 永持德一

定價一部金參錢五厘 一ケ月分金七錢 半年分金四拾貳錢 全冊無郵送料

廣告料一行六拾錢

本號全部禁轉載

愛國婦人廣告取扱

京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田三河町 博報堂
京橋區南紺屋町 京橋區南鍋町 一星社 秀逸社
日本橋區上槇町 日本橋區蠣殼町 萬年社 春風舍
京橋區宗十郎町 京橋區日吉町 正路喜舍 帝國通信社
同區彌左衛門町 同區南鍋町
京華社支店 廣告社

社説

年の暮れ

正月元日に掛けたゞ柱暦の、紙數多く厚くして、一日一枚づゝ取りまくりてこれが、今年の中に無くならうかと、心配し居たるに、一枚取り二枚取りして、何時の間にか、あと三十枚となり、二十枚となり、今は僅に十枚ほどになりて、全く無くなるも、程なき際とはなりぬ。暦の紙をばらつかし見れば、一年といふものは、隨分長きものなるに、これは、どうした立て方ぞと、思はぬ歳暮の、一年もなきこそ、面目なけれ。「逆に水は流れず年の暮れ」今更あせつても、もがいても仕方なし。子どもの時は、正月の來るのが、待ち遠く、樂しかりしが、この頃の、月日の立つのは早いこと、ての有樣て、うかうかして居たら、一生何も出來はせぬと、奮發心の出るだけが、年の暮れの、せめての我れの取り得なり。來年は來年はとて暮れにけりと、古人も同じことを言ひ居れど、來年は來年はとばかり延ばさずして、今年の事は、今年の中に片付けるやう、來年が、今年となつたらば、どうか、したきものなり。今年の申しわけを、來年にさすは、智者の事にあらず。來年といふものは、馬鹿の暦にあるばかり。氣の利いたる人間は、今日に生活し、豪い人は、昨日に生活すと、誰やらも言ひし事あり。願くはお互に、その豪い仲間となつて、今日の事を、昨日濟まし、來年の事を、今年濟ますといふやうに、大勉強大奮發を、今日唯今から、一生しやうてはありませんかと、相談と贊成を同時に求め、これを今年の箍仕舞ひとするものなり。

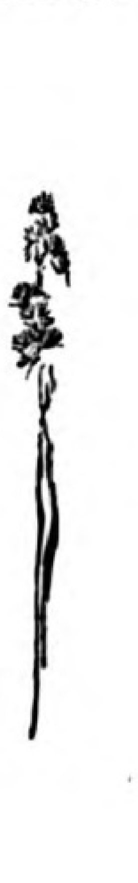
友情（三）

友は少年に好く、又中年に好し。されど最も好きは、老年にあり。生活の日は、將に暮れんとして、周圍の人も物も、共に新らしく、思想、感情、習慣、皆變はれる中に、取り殘されたる者の、友なつかしく思ふは、尤ものことなり。葡萄酒と友は、舊きが好し。同じ出來事の記憶を有し、同じく泣き、同じく笑ひたる舊き友が、思ひ出多き過去の生活を語り合ひて、感慨無量、その嘗て變らざりし友情を嬉び、墓の彼方までも、これを續けんことを約せる、晩年の頼みと希望と、何物かこれに過ぐべき。されば、ロバート、バーンズも、舊友の情を歌うて「我等の始めて知りし時には、君の頭髮は、鳥の如く黑く、額はつやゝかに美しかりき。されど今は、君の額は禿げ上り、頭髮は、雪の如くなれり。かくてもなほ、君の上には、幸あれかし。我等は、嘗て共に彼處の岡に登り、多くの日を共に樂しく送りたりき。されど今は、よろめきながら、降らざるべからず。いざ友よ、共に手を取りて降らむ。かくて彼處の麓に共に眠らむ。」といへり。老年の友情さもあるべく、誠にやさしくもまたあはれなり。友情は、たゞ友の世に在る間のみ存すべきものにあらず。よし友は死せりとも、嘗て斯る友を有せりとの追想は、死すべくもあらず。友は死しても、なほその芳ばしき友情は、己れの存する限りは、留まるべし。「誰れか、友と共に、その友情をも葬るものぞ」と、ローマの賢人セネカは云へり。げに何處までも、好きものは、友にあらずや。

友は、たゞ己れのために存するものにあらず。己れまた友のために存することを忘るべからず。唯自己の利益のために作れる友は、眞の友にあらずして、方便の友のみ。既に方便たり。その間に友情の存せざるや、明かなり。友情は愛の上に立たざるべからず。英國の女文豪シャルロット、ブロンテ曰く、「確實なる基礎の上に、友情を建立せんと欲せば、我等は、我等自らの爲めよりも、友の爲めに、友を愛せざるべからず」と、幸に、斯る友情の存するを得ば、地上に天國を現出せんとは、必ずしも、空望にあらざるなり。

我等は以上、種々の方面より、友情に就て說く所ありたり。翻つて婦人間に於ける友情如何と考ふるに、從來婦人の生活は、眞の友情を作るに、都合好きものにはあらざりき。その所謂交際なるものを見るに、多くは、巧妙なる口上を以て、受けつ流しつ、唯表面の交際をなすにて、中々に心をゆるさず、何處までも隔意ありて、心中をうち開けて語ふこと、甚だ稀れなり。これ婦人はつゝましく控へ目にせざるべからずと、消極の一方に敎へ込まれ、從つて男子にては笑ふて濟むべき一言の言ひ損ひも、婦人の口より出づれば、不都合となり、出過ぎとなりて、取り返しつかず。滅多に口も利けず、話に油斷出來ざるより、勢ひ交際が、ほんのおつきあひにて、上すべりのものとならざるを得ず。從て親友を作ること甚だ難く、多くの婦人は、一人の親友もなくて、生活するなり。たまたま學校にて、割りに心置きなく交際したる友も、學校を出づれば、各々他家に嫁入りて、交通は勿論、交通さへ思ふに任せず、卒業の時の別れが、一生の別れとなること多し。さらば嫁せる家に於ける折角の女友達こそは、互に親しく、心をうち開け、頼み頼まれつゝ、睦すべき筈なるに、實際はその反對にて、嫁と姑、小姑の仲合は、多くは犬猿啻ならざるこそ情けなけれ、かくて婦人は、生涯眞の友の頼みと樂しみとを享くること能はずして、寂しき生活をなすことゝなるなり。これをしも泣かずんば、何をか泣くべき。されど、何時までも、斯くてあるべきにあらず、世の進むに連れて、婦人の敎育、從つてその要求も進み、その世上の位置も改善せらるゝことなれば、交際の性質も、また漸次變はり行くべく、眞の友を作るの機會と便宜とは、多くなるべし。我等は、その一日も早く、斯くならんことを望むものなり。

（正誤。前號第二段終りより五行目、「信とす」は「倍とす」の誤り）



新春の「愛國婦人」

日に新たにして又月に新たなるを特色とせる本誌は、新たなる年と共に更に本誌獨特の左の如き裝紙の盛粧を凝らして我愛讀諸姉が新春の机邊に捧げらるべし。

皇太子殿下 同妃殿下 兩殿下御眞影

右は特に東宮御所の御許しを得、愛讀諸姉が各家に珍藏の用に供する爲め殊更最近御眞影を謹製本誌に添ふるもの也

△愛と情……伯爵 大隈重信
△如何して人生を樂しく幸福に過すべきか……鳩山博士夫人 鳩山春子
△世の進歩と女子敎育……前外務大臣 林董
△日本婦人と西洋婦人……男爵夫人 本野久子
△人間最高の樂……衆議院議員 山根正次

以上各家の高論は愛讀諸姉が新春に於ける座右の銘たるべしと信ず

△勅題雪中松……久保田金僊畫
△酉の春……同上
△烏骨雞……望月金鳳畫

以上は孰れも新春に因める當代名畫也

△印度土産お伽講談 義烈の少女……巖谷小波
△露國チエホフ原著 魔鏡……瀬沼夏葉
△子守うた 燕・杳手鳥……薄田泣菫
△小說 隱れたる德……齋藤吊花
△美術講話 趣味の修養……紀淑雄

以上孰れも當代文人が名作當代の大文章なるは云ふまでも無く、以上の他聚告せる名流歌選の一として三輪田眞佐子刀自の詠史新年に因める料理、酉歳に因める松林伯鶴の講談等掲げらるべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論議

社交的婦人の力

子爵　渡邊國武

婦人問題では種々の說を述べるものがある。——舊時代の日本なれば、在來の支那や朝鮮あたりの婦人のやうに、婦人が人目を避くることが禮儀かも知らぬ。併しながら新時代の日本に於いては斯くの如きことは許さぬのである。帝國の運命は日一日に世界的發展を爲すと共に時に種々の危險に瀕することがある。かかる時期に於て婦人のみ獨り深窓に籠城して可なるべき道理が無い。新時代の日本婦人が夫と共に愛國の至誠を發揮するには、是非とも社交的力量を振はねばならぬと思ふ。

外交上の親睦は決して政府と政府との中間にあらずして、國民と國民との領域となりし今日、依然舊來のまゝにて、婦人の保守飽くなき態度を保てるが多きは實に遺憾のことゝ思ふのである。

爰に婦人に對して、社交上に力を盡せと云ふのは、決して不義、淫逸をせよとて婦人に强ゆるのではない。飽くまで婦道を守りて輕快に立ち廻れと云ふことである。外人に對し、また知人に對して心持の善きやうに、文明婦人の本能を發揮することである。

洋裝の時は陽氣になり、和裝の時は不言の花となるは、日本婦人の缺點だと思ふ。——それは兎に角、世界の流行に隨ふて夫の威嚴を失墜せしめざる事に努むることは、今日の急務中の最急務であると思ふ。就中、當今の婦人は勉めて文學、美術、音樂等にも精通して、花やかな賑はしき社交界を現出せしめられたきものである。

これは如何にも酷評とは思ふが、日本へ行遊すると死んだやうな冷かな婦人ばかり居ると或る外人は云ふたのである。

酷評とは云へ、幾分の理なきにあらずと思ふ。萬望、かゝる評語を外人より聞くことの無いやうに日本婦人をしたいと思ふ。世界列强の一なる新時代の日本婦人たる自尊と自信を敎うるが、果して現代の敎育ならば、今日以後漸次、力ある婦人の今日よりも多數に輩出するに至ることに對し、疑ひを挿む餘地は無い。唯だ切に現代婦人に對し一層猛進を望む。

閨秀百首佳選

(其十三)　中村秋香大人評　横川羽子作

(其十四)　中村秋香大人評　中岐和子作

(短册は神田今川小路玉川堂の寄贈)

英國の女學生と暹羅の女學生(下)

—(東洋婦人協報社講演會にて)—

學習院教授　安井哲子

△知力の點▽

次に知力の點で申しまするると、暹羅の女學生は諳記力が極めて强く、語學の進歩は極めて迅速であります。又、造花とか刺繡とか申すやうな技藝も中々得意であります。併し數學の如きは長所とは申せますまいと思ひます。その上、熱帶國民の通弊として、兎角耐忍力に乏しい。熱心と云ふ事が無いではありませんが之れを持續して行く事は困難であります。

それと違つて英國は氣候も寒く、天空が灰白色でありますから、從つて人々の心裡も沈靜て、又、眞面目であります。されば氣候が國民性に影響する事は爭はれぬ事實であります。

英國の女學生は概して申せば、暹羅の女學生のやうに、語學とか技藝とかに秀でては居りませんが、思考力には富んで居ります。殊に彼等が日々習ふ事は唯敎師の敎へた事を記憶し、諳記すると云ふのでなく、之れを基として自身に思考し又應用するやうに仕向けてあります。夫故に、日本の女學生よりも中々苦んで勉强します。即ち自ら讀ませ、自身で自分の意見を形作くることを常に練習して居ります。それが爲め能く知力の練磨が出來るのであります。

又訓練上の場合に於きましても、多くは揭示場に告示を致し、一般の生徒は自身に之れを讀み、自身に之れを實行する樣に仕向け、一々受持の敎師から繰返し繰返し之れを口達注意せねば實行が出來ぬと云ふやうな事は御座いません。

一言に之れを申すときは彼等は能く自身に思考し、又能く自身に責任を以て事を處置致します。此點は私の最も切に感じた所で、彼等は眞に文明國民の資格を備へて居ると思はれます。何故かと申しますに、責任ある言行をなす者は信用があり、信用のある者は自然に强國民であるからで御座います。(をはり)

事實上の疑問(下)

愛國婦人會東京支部牛込幹事部顧問　土方篠三郎

私は子供の時分に聞き及んだことが御座います。それは他でも無い。——中流以上の家のお嫁さんにはなれなかつたと云ふことであります。此御殿奉公と云ふのは學問でなくして動作であるとか、或は所作であるとか云ふことを遣らなければならん。隨つて實際の學問を致たかも知れませんが、まあ、奉公と云つても東京のお大名であるとか、或は本丸であるとか云ふ所を濟せて參りますと、中流以上の家のお內儀さん位の所で御座いましたらうと思ひます。

これも私の親戚のことでは御座いますが、斯う云ふ面白いお話が一つ御座いまするので……。其者は御殿奉公を濟せて家庭へ歸つて參りまして、さうして他家へ緣附いたのでありました。左樣致しますと、これも地方の大きな農夫でありまするが、可厭に其人がハイカラになつて仕舞つて居る。或る時、この夫婦が到頭離別になつて仕舞つたのであります。それは何う云ふ理由かと云ふに、農夫のことて御座いますから、其檀那殿が或日の晝食頃、野良から歸つて來て、臺所に往つて大きな薩摩芋を嚙つたと云ふことて御座います。然る處、其お內儀さんが可厭にハイカラだからして、良人が色氣もなく薩摩芋を嚙つたのを見て、急に可厭になつて終つて、のこのこ實家へ歸つて往つて、何うも那樣な良人は妾は嫌だから可厭だと云つて、結局離緣になつて仕舞つた。勿論、これは往昔の話であつて、御殿奉公をさせたが爲めに斯うなつて仕舞つたのであるが、これも寔に解らないことて御座いまする。

私の鄕里なぞでは、今日では東京に出して學問をさせるのは隨分考へものになつて居ります。兎角、東京へ出たものは金剛石入の指環半襟なぞが欲しくなるやうです。それ故に、東京へ出すことが考へものになつて居るので御座います。無論、都の進んだ思想は至極結構ではありますが、私の望みます所は、地方の女學生は例へ東京へ出て勉强してから後と雖も、農事思想とか、田園思想——と云ふと、大層粹に聞えますが——農藝と云ふやうな思想もあるやうに致したいと思ふのであります。

斯う私は申上げますが、私の申上げた此お話は何處に意味があるか、何處に目的があるか、講話をする私自身にも少しも解らんのであるから、諸姉には猶更らお判りになりますまいと思ふ。甚だ無用言のやうなことを申上げたのではあるが何ぞ意味のあるやうな、あて事のやうな寔に詰んことを申上げたやうではあるがその內の「事實上の疑問」が、諸姉の胸の裡にも事實上の疑問となることが出來得れば幸だと存じます。

(了、成女高等女學校にて)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女子選擧權問題に就いて

佐藤正

頃者佛國に於ける男女同權論者は同國憲法第二十四條の「男子は女子を愛し女子は男子に服從すべし」と云へる成文の棄却を政府に申請し、英國に於ける女權擴張論者は、女子にも男子と同じく選擧權を與へられたしと請願したる爲、兩國に於ける贊成側及反對側の言論仲々に喧すしかりしが、次て此問題に關する米國大統領ルーズウエルト氏の意見を發表するや紐育を始め各國の女流社會は勿論、多數の男子も、盛んに氏の告白を是非し、新聞紙は紙面の大部分を費して。甲論乙駁火の手は頗る盛んなりと聞く。

ルーズウエルト氏の宣言の大要は下の如く、女子の最善の事業は家庭にありて政治界に存するものにあらず、余は此運動に就ては熱心なる贊成者にあらず、何となれば巾幗者流によりて要求せらるゝ選擧權の爲に、到底女子の狀態を改むる事能はざればなり、と云ふにあり。

常識より打算するも同大統領の所說は誠に穩當にして要を得たるものなりと思はる。されど彼土に於ける這般の問題は暫く擱き、最近の我國の狀勢に見るに、幾多の主義及び學說の輸入せらるゝものゝ中には、往々にして危險なる主義、不健全なる學說等無きにあらず。誤りて夫等の乘ずる所となり、突飛にも無政府黨の旗幟を推立て大道を徘徊し一知半解の女權運動を爲し、世の物笑ひとなれる女子近く我國にも在りしは、未だ讀者の記憶に存すること、信ず。

思ふに女子が斯の如き不謹愼なる行動を敢てするは、全く其天職を忘れて猥りに附和雷同して社會の秩序を紊亂せしむるに過ぎず、却つて女子の眞價を傷け男子の輕蔑を受くるに止るものなれば、苟くも眞に女子の地位を高めん事を欲するものは、顧みて先づ女子自身の淑德を修め、其が天賦の事業たる家政を整へ、子女を敎養し、而して猶餘裕あらば出でゝ慈善事業の爲めに盡力し、男子をして後顧の憂なからしむる事を心掛けらるべし

日本繪と支那繪

貴族院議員　森山茂

日本の繪畵は粉本に依りて描かれたるを以て、元信、探幽、武田直入等の名畵は、百が百同一の型式を脫せず。然れども支那の繪畵は同じ山水を描くとしても百が百皆各樣の特色あり。唐宋元明各時代各異れる美點あるに依り證し得べし。日本の繪畵は技巧に秀絕するも、雅韻の掬すべき點少し。支那の繪畵には拙劣なる筆跡を認むと雖も、其雅韻の味ふべき美を有す。

總て繪畵の貴きは筆勢にあり。此筆勢の點に於て唐宋明の畵人と比し其上位にある者は雪舟その人あるのみ。雪舟が一本の筆を自由に使用して稀世の名畵を爲せるは畵人中の仙と云ふべし。

大阪支部授産場教育の景況

婦人に望む三問題

文學士　三輪田元道

△女子が積極的自覺をなし、婦人の活動をして今一層文明の要素たらしめんことは予が最も切望に堪へざる處なるが、想ふに婦人が自己の本能を認識し、意識的自覺を爲すには、左の三問題を今の世の婦人に望まざるを得ず。

（一）研究する勇氣
（二）自覺すべき忍耐
（三）社會を向上する奮勵

△婦人をして社會の各方面を研究せしめ學術の方面にまでも新學說を提供し、新たなる發明をなすに至らしむるには先づ第一に、婦人をして大いなる修養を爲さしめざるべからず。

△向ほまた婦人をして社交的ならしめ、活動的ならしむるは、これ刻下の急務にして、これまた最も婦人に適切なる事業なりと信ず。彼の最も婦人に適切なるべき美術をして、男子の專有たらしむるが如き通弊は、一日も早くこれを匡正せざるべからず。

△予が婦人に望む處の自覺、研究、活動三問題は、決して男子にあらざれば不可能の者にあらずと信ず。況んや、男子以上の才媛現實に存在せるに於てをや。

△予が婦人に望む處の此三問題に就き、述べんと欲すれば述ぶべきことは多々あるも、此處には唯だ、予が現今の婦人に對し如何なる希望を有し、如何なる要求を有するやを述ぶるのみに止めて、多く說かず。

△されど、新時代に在る日本婦人の地位をして、今よりも一層光輝あるものならしむるは、これが後繼者たる若き婦人の努力にあらざれば能はずと信ずるを以て敢て此處に、予の意の在る處の一端を述ぶるものなり。

東京の名所保存に就いて

鏑木清方談
三宅克巳評

私が水に接した土地に住居を致すことに定めて居りますのは、かゝる水邊の景色を先天的に愛すると云ふ特性が、幼少の時から養はれて居りますからです。朝夙く起きて河邊を逍遙する時の心持ちは、實に愉快なもので御座います。隅田川に致した處で、彼の綾瀬の渡の處は中々趣味ある景色で御座いまして、畵題に取るべき東都第一の風景と私には思はれるのであります。向島には煙突の林立を排斥せよと云ふ方もありますけれど黑煙が重き空氣の壓迫を蒙りて、止むを得ず煙突を取卷いて居る處は仲々面白きもので御座います。決して俗惡なものではありませぬ。

上野の森にペンキ塗りの景色は何うかと云ふ人はありますけれど、月夜とか夜明方の薄ら明りの時を見ますれば、不忍池畔の光景は仲々趣味あるもので御座います。如何に物質的文明が進歩致しました處で、向島と上野とは是非今の儘に保存致したきもので御座います。

大阪支部授産場作業の光景

煙突に取卷かれたる向島があるとしても、在昔の儘の向島ならば決して無趣味なものでは御座いません。論より證據、新大橋の景色と兩國の景と孰れが好きかと申さるゝけれど、新大橋の昔のまゝなる古代風の橋も、新時代の鐵橋も、少し朝夙く起きて水煙りの中に見ますれば別段相違はありません。新大橋には新大橋的の風景がある如くに、兩國には兩國式の風景があるので御座います。

兎に角、名所を保存せよと云ふことは活畵題の保存を希望することでありますが故、私の名所保存を希望するのは、美術家の自覺的奮鬪を希望する趣意から考へたる愚案であります。

△右に對する三宅氏の評△

鏑木さんは西洋かぶれの日本畵家と申さねばなりませぬ。煙突やペンキ塗りを俗惡視する傾向を脫せざる日本畵家中に於ては、實に異數と申さねばなりませぬ。

四顧朦朧たる隅田川、月の光淡く照す處を、天を磨せる烟突より黑き煙を吐く處の景色は、これが綾瀬川の渡しならば慥かに自然の大光景であります。世人は富士山が善い〳〵と申しますけれど、畵家の眼中には、富士山を突然と描き出すことは全然無趣味なものと申して居ります。同じ山の景色を描くならば、信州の山々又は妙義山の方が如何にも趣味に富んで居りますことは、何人にも認めらることであります。

總て油畵の方から申しますれば、自然は實に好模範であります。日本の景色が油畵に適せないと云ふことは決してありませぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界烈女傳

楊烈婦 (支那)

楊烈婦は唐の李侃が妻なり。建中の季にあたりて李希烈といふもの起りて陳州を襲ふの聞えあり。時に李侃、項城の令にてありけるが、禦ぎ戰かはむと欲するも城小にして兵寡なければ、賊勢にあたりがたく、城を舍てゝ逃れむとせり。

この時妻楊氏いさめて曰く、君もしこをすてば、誰ありてか守るべき。義においても然るべからずと。

李侃曰く、今兵少く財乏し。力これを支ふべからず。楊氏いはく、城もし守を捨てば、縣はみなながら賊地にして、倉廩府庫みな彼等がものとならん。これ土地人民を擧て賊に與ふるなり。しかじ今我これを用ゐば、その百姓はみな戰士なり賞を重くして死士を募らば、なほ此難を濟ふべしと。

斯の如く理はり正していさめしにより李侃これに從ひ、のち吏民を徵して庭中にいれ、衆に語り、相與に死を以て守るべしといひけるにぞ、いづれも皆な其の忠節に感じて之れを諾ひけり。

こゝに於てか、李侃たちまち數百人の戰士を得、これを率ゐて城を守れば、楊氏は自ら爨ぎて兵士に給せり。

然るに、かく防戰するほどに李侃賊箭に中りて退くを、楊氏責て曰く、君いまあらずば、誰かよく此城を固守すべき、傷を被りて外に死するの榮は、牀にありて死するには愈りぬべしと、云ひはげましゝかば、李侃復び城に登りて賊とたゝかひ敵を射ること夥しく、賊遂に志を果さでひき退きぬとぞ。

家庭

正月の家庭料理は如何に準備すべきか

成女學校教師　津川千代子

吸物　鯛よどき

重詰物口取　こいし豆、まけかまぼこ、てつせんえび、日の出長芋、つるこんぶ

重詰物鉢肴　鯛の若菜むし、みの松だけ、末廣竹の子、梅くわゐ、朝日生姜

さしみ代り　五分切わけぎ、つみわかめ、せん大根、才がたまぐろ、うど、ぬた

吸物

材料　一鯛の切身、一しらが昆布、一煮出し、一醬油

干した鯛は丸のまゝ一晝夜水につけ、適宜の切身にして骨をとり、水洗して五分間程うでます。水で一寸冷やして水けをしぼつておきます。しらが昆布は手早く水で洗つてかたくしぼり横縱から一寸程に切つて器に盛り、その上に魚をのせて上から汁を入れます。汁は十人前に煮出し一升として、鹽少許りと醬油とて味をつけます。

口取

こいし豆　材料　一白いんげん豆、一黒豆、一砂糖、一鹽、一重曹少々

白隱元豆一升を水洗して、水をたつぷり入れて四十分ほどうで、時々水をさし皺がのびて來た時水をとりかへます。それに砂糖二百五十目と水三合鹽二勺程を入れて火にかけ、あまり強くない火て十分間程煮て火からおろし、鉢にてもあけて蓋をして翌日位に用ゐる方がよろしうございます。此豆はなるべく皮のきれないやうに、やわらかに煮るのであります。

黒豆はいんげん豆一升に一合五勺位を一寸洗つて水三合程を入れ時々水をさし二十分間程煮て、重曹を小さじ一杯を入れて煮て、汁が少くなつたら砂糖を茶飲茶碗に二杯と鹽少許りとを入れて五分間ほど煮てそのまゝ汁をふくませておきます。又前のいんげん豆の汁が澤山ありましたら此の中に入れ煮ます。さうしますと砂糖は前程いりませぬ。器に盛る時は汁をよくしぼつていんげんとまぜます。又上からかけてもようございます。

鮭かまぼこ

材料　一鮭、一白みの魚少し、一砂糖、一かたくり粉、一煮出し

鮭は鹽引の鮭でもよろしうございます鹽少しさして片みにおろし、肉を切りとり、皮めに肉を一分程つけてそのまゝおき、肉は切つて庖丁にてこきます。擂鉢にて十分間程すり、ひらめか何か白き身の魚を鮭片みに百目程を入れ擂り鮭の身とまぜ砂糖茶飲茶碗一杯、煮出し二合かたくり粉茶飲茶碗かるく一杯入れてまぜうらごしにかけてこします。そして前に殘しておいた鮭の皮に全部をつけ、蒸籠に皮めを下にして入れ四十分間程蒸します。冷えてから適宜に切ります。上等にするには、鮭を切るやうに幅のまゝ斜に大切に切ります。(生鮭の時は鹽少しを入れます。)

てつせんえび

材料　一車えび、一鹽、一青竹少々、一魚のすりめ

車海老を水につけておき、頭をとり串にさし(なるべくそるやうにさします)鹽湯にて十分間程うで水に入れて冷し皮をむき、腹よりひらき、まはりを扇子形に切りおろし、裏表に鹽をして十五分間程おき、皮目を下にして竹の皮の上にならべ、その上に魚のすりみを五分位の厚さに敷き蒸籠に入れて十五分間むします蒸しあがつたら一つ一つに切りはなし、柄をつけます。柄は青竹を三寸位の長さに二分位の幅に切り一方に節をつけて、節のない方を二つに裂き、青い皮めを上にして海老の間にはさみます。(魚のすりみは前のかまぼこのと同じてあります)

日の出芋

長芋でもじやがいもでもよろしうございます。丸くむいて四分位の厚さに切り、少々かためにうでて、湯をしぼり、食紅を水でといて、一寸煮て、手早く水洗して砂糖と鹽少しとを入れて、三分間程煮てそのまゝ汁をふくましておきます。長芋はぬら〳〵してむきにくうございますから手に鹽をつけておきます。

鶴昆布

板昆布の厚いのを二つ三つに切つて、ゆるく卷いて、一寸結び水を澤山入れてうでます。此時酢を少し入ますとやわらかになります。それを鶴の羽を廣げたやうに切つて、煮出して砂糖と醬油とて三分間程煮ます。重の中に詰める時には汁を少し入れておきます、汁けがないと羽がしなびます。

毛髮用　パール

主婦必須の辭典

我が愛讀者の多數は『家庭百科辭典』を購はれたことゝ思ふ。彼の辭典は非常に有用なものであつて今でも仲々に用ひられて居る。殊に名の如く主婦に家庭の智識を供給するに必須なものであつた。併し主婦と雖も其必要なものは啻に家庭的の智識ばかりではない。更に種々の方面に渡つた外的智識が必要である。

この外的智識の必要を充すの好辭典は、今度富山房から發行された『國民百科辭典』である。されば嘗に富山房から發行された『家庭百科辭典』を座右にせらるゝ人も、此新たに世に出でたる『國民百科辭典』を座右に備へて置く必要が是非あらうと思ふ。

『國民百科辭典』は小形にして輕便なことに於て、一家事に忙はしき主婦の繙讀に便利である、彩色各種の寫生畫、地圖が無數に挿まれて居る點に於て一見したのみても相當な智識が得られる。精細な統計表が幾個となく、判り易い方法に依り各處に掲げられて居る點に於て、數百冊の書冊を一冊にまとめた以上の價値がある。各項の記事が簡潔にして要を得て居ると云ふ點に於て、多くの時間と勞力とを費やさずして、多くの分量の必要な智識が得られる。價の廉なるに比して美しき本であるから書齋の飾りにもなる。就中、地理歷史に詳しいから、極めて主婦に必要の項目を多く盡して居る。各項いづれも專門大家自身の執筆に依れることとて記事が悉く正確である。

以上の諸點に於て秀れたる主婦必須の辭典として此『國民百科辭典』を主婦たり主婦たらんとする諸姉に勸めたいと思ふ。

スミレ香水　平尾分店

流行ブローチ

1 拾八金眞珠入金四拾五圓　2 拾八金拾圓より　赤銅製壹圓より　3 拾八金わらびの圖九圓より　4 拾八金金拾四圓より　5 拾八金眞珠入金拾貳圓より

●送料内地は拾貳錢[illegible]は各三拾錢 ●[illegible]願上候 右御好みに應じ御意匠とし品質を調製可仕候共陸續御用命奉希上候

治　東京日本橋人形町通り　澤田治助
美術貴金屬細工袋物商
電話浪花三五六九番　振替口座一二三七二番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜録

▽年暮れんとす　來年は〱とて暮れにけりの恨、誰れしもにあるべし。されど逝くものは追ふべからず、改むべきは將來にあり。諸姉この歳暮にあたりて悔あるか、あらば、將來に於て之れを改むるの他はなからん。而して希はくば來ん年に於て此の悔なからしめよ。さらば諸姉、八聲勇しき酉の元旦に於て再び諸姉と新春の紙上に於て相見る時まで、長へにさらばよ。

▽火災續々　何時も火災の續續は歳の暮にあり。就中、今年は天久しく雨降らざる結果として近頃各地火災續々たり。遠州に於て、岩手に於て、宇都宮に於て、その他各地に於て、殊に東都小石川の巨刹傳通院の燒失せるは、惜むべしと云ふも餘りあり。何にせよ。此際日の用心最も肝要なるへし。

▽殊勝なる英國婦人　Mrs. Katherine Tada.　在英國多田鐳治氏夫人英國人カザリン、スラフート氏より先頃本邦軍人の鰥寡孤獨の者へ寄贈したき旨にて金二十圓を鐳治氏實兄神田小川町愛國婦人會通常會員村上總平氏妻小愛氏を經て我が愛國婦人會へ寄與せられたるが、カザリン夫人の良人鐳治氏は明治十九年英國へ渡航し雜貨店を營み各處へ轉々十年前カザリン夫人と結婚今も尚ほ該業に從事しつゝありとの由なるが流石に日本人と結婚する程の夫人だけありて、カザリン夫人は大の日本好きにて殊に博愛の心厚く彼の三十七八年戰役の頃なぞも其店頭に慈善箱を設けて多くの金員を得、我が恤兵部へ寄せたること屢なりしとは殊勝なることにこそ因に此處に寫眞版として掲げたる中央なるがカザリン夫人、向つて左なるが愛兒春治氏(三歳)、右なるが愛孃菊(八歳)女なり。

Mrs. Tada and her children.

▽東北の吹雪　東京にてさへ今年は寒氣一入身にしみるやうなり。ましてや寒き東北の野に於て、この頃飛雪の電報しきりなるは其筈なり、曰く奥羽線附近、曰く津輕海峽、曰く福島地方、曰く信越地方、いづれも大吹雪とか。都にて寒さをかこつ人よ、ちと此の地方を思ひやり給へかし。

▽日本電報通信社祝宴　本月三日午後四時同社七周年祝宴を新築の有樂座に於て擧行、光永專務取締の開會の辭、來賓澁澤男爵、長谷場純孝、德富猪一郎、小松通信局長等の演説あり。午後六時食堂を開き更に餘興に移れり。出席者は朝野の名士を網羅し千名に上り近來稀なる盛會なりし。

美顔料　パール　東京濱町　平尾分店

家風の異なる田舍へ嫁ぎしわらはが當時の感想

あき子

▽足下より鳥の立つやう　○月○日、木枯の冬の巷路まだ霜置かぬ日頃なれど、紅葉の噂やう〱人の口端に掛かり初むる程に、無きにしもあらざりし縁談の、處女の如くに進みしが、いつの間にやら脱兎の勢にて纒りつ。媒人は母方の親族、わらはには叔父君なる人に在す。されど流石に父上の危み給ひて飯一つ覺束なき娘の、所詮役には立つまじ、兎にも角にも家事見習の爲、暫時あづかり給へとて、媒人なる叔父君に囑し給ふ。さらばとて叔父君明日は伴ひ行かむと仰せらるゝに、覺悟の上ながら足下より鳥の立つ如き不意打に、今更めきて胸のわなゝくぞ腑甲斐なき。

▽生來始めて踏む故鄕の地　○月○日、乘れば醉ふにぞ修學旅行にさへ、恐ろしくて得行かぬ汽車の旅路を、百二十哩東北の方へ數時間はこばれて、さながら人身供御に上りし心地しつゝ目ざす邊僻の驛に着きぬ。茲ぞ先祖代々の墓どころ、なつかしき故鄕と父上、彼は何、此は斯と指さし敎へ給へど、都にて生れ都にて育ちしわらはには、根つから戀しくもなつかしくも無く、たゞ恐ろしき汽車を降りし事のみ心安し。迎へ給ひし親族舊知の誰彼に、父上一々挨拶してわらはをば媒介せ給ふ。美しき娘なりと皆噂するに心嬉しくて漸々落付けば、人の鄙びたる詞なまりの耳障るも聞き惡からず。

▽欺されたかと思ふ　○月○日、晴天の落雷あり、叔父君の一人飲み込み給ひ、計り兼ねて當惑し給ふ父上を程よく解き伏せて、家事見習の筈なりしが、俄かに模樣變りて花嫁となる兎にも角にも遣はし給へ、惡うは取計ふまじとて、既に先方にては婚禮の用意整ふと告ぐ。わらはは全く腹黑の叔父君に欺されて、好いやうにせらるゝなりと泣きぬ。見も知らぬ、聞きも及ばぬ先方の男の心計り難きに、などさは急ぐにかと不審かしみぬ。されど、あゝ、結納の品は座敷に堆高く飾られたり。今は泣くも術なし、此上は運を天にまかして、目をねぶつて嫁かんのみ。その夕暮、街の樣案内せんとて姪なる娘の促がすに、行きたくもなけれど立ち出づ。せまき片田舍の事なれば、早くも傳はりたりと覺しくそれ○○の花嫁が通るぞよ、やれハイカラが、とわめき立てられて、そこ〱に逃げ歸る。

▽また嫁さんが來た　二日經ぬ。父上都に歸り給ふと云ふ朝、ふと此家に遺傳の病あり、夫と賴む人の弟御その氣うけて狂ひ給ふと洩れ聞きぬ。さてこそ思ひ合する事のあれ。華燭美しかりし彼の夜、彼方にて、また嫁さんが來たさうな、とわめく聲のしたるが其人なるべし、と思ふに、又の字心に掛るまゝ、それとなく傍近く召使ふ女童に尋ぬれど、口開かねば、都ぶりの半襟一掛與へて、わが身の二度目に貰はれしを知りぬ。隱さでもあるべき事を、など叔父君は秘め給ひけん。出されしか出て行きしか、原因は何れにせよ、所詮よき事にはあるべからず、わらはも何時かは……と思ふに父上の歸りまりかねすがりて泣きぬ。

▽二尺五寸を筒袖に　また二日經ぬ。昨日庇髮は見善からずと止め給ひし姑の君、今朝兄上より賜りて止め給ひし大輪の白薔薇の挿し、なつかしさに取り出て、挿せば、姑君あまりに華美なりとて止め給ふ。田舍者の、都のさまを知らぬが可笑、と口惜しさに言ひ込めたきを玆なりと思ひて、生れて初めての耐忍。幼なくて母を亡ひし身の、兄上、父上をわづらはして、自分天下に育ちたるわらはに取りて、これだけの耐忍は、都にて夢にも知し給はじ、若し聞き給はゞ妹思ひの兄上、如何にいとしと思すらんと、それにつけても都の空偲ばれて心に泣きぬ。それさへあるに姑君、働き惜かんめりとて筒袖を着よと宣ふ、二尺五寸に馴れし身の、思ひも寄らぬ事なれば、それ計りは勘忍してと、積る悲しさ辛さに淚の堤一時に斷れて泣き伏せば、姑君驚き呆れて種々に取成しすかし給ふ。

▽漸く姑の心を知る　姑君わらはの庇髮を丸髷に、リボン花笄を卷繪の櫛に、二尺五寸の振袖を筒袖にと望み給ふを、邪目に聞けばたゞ嫁惡くて意地目給ふと見ゆれども、この姑さる心にはあらで、此の人學もなく智もなければ女子は新聞やら雜誌やらは讀むべからざる者と心得て、わらはの讀むを止め給ひ、嫁は丸髷に結ひて筒袖着て働くものと心得たれば、わらはの庇髮と振袖を止め給ふ、自分が斯くして生ひ立ちたれば、自分の通りに嫁をも律せんと思ふのみにて在す、その容貌の示す如く、姑君は誠に田舍者なれば、云ふこと爲すこと表裏なく僞りなし、されば自分の家風は何處までも世間一般の正當なる家風と解釋し給ひ、時代が如何の、女學校卒業生と田吾作が娘の差異が如何の、と思想が如何の、そんな事一つも考へ給はず、まことに單純なるものにて在す斯くと知りてより後は、萬事御し容易しおほけ無けれど、かゝる時代後れの姑君一人くらゐ、如何やうにも操り申さなんと覺悟したれば、その後は專ら何事も母樣とおだて奉りぬ。夫なる人は始めよりわらはを望み給ひ、わらはならではの心に在せばいと心やすく年を送り月を迎へて、案ずるよりは易く、今は二人の兒の母となりぬ。昔泣く程の思ひにて姑君に抗したる振袖も、二尺となり、尺八寸とつまり、七寸六寸五分と次第につまりて今は折々筒袖さへ着けて働くやうなりぬ。(をはり)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

圖書倶樂部

□後○又兵衛　京橋區南鍋町一ノ二　隆文館

著者は時代小說に堪能な緑園生で、今度表記の隆文館から武士道小說第一篇と銘打つて出されたのが、後藤又兵衛の一代記である。第二篇の後の後藤又兵衛と相俟つて不遇なる快傑の面目は遺憾なく發揮されて居る。定價何れも金八拾錢郵税金八錢、菊版總クロースの優美な表裝は年末の贈答品にも適して居る。

□家庭夜話たのしきまとひ　神田小川町一　忠文舍

自序に曰く、此本は少年少女諸君は勿論、父兄諸君にも讀んで貰ひたいために著したのです、要するに多方面の話材を家庭に供給したいのが目的で、また少年少女諸君の趣味をひろからしむると共に、話物に巧ならしめたいとの希望も添へて居りますと、著者福田琴月の新舊作を集めて一卷としたるもの、定價金六拾錢。

□教育お伽噺　日本橋本町三丁目　博文館

家庭百科全書の第十三篇として出版された木村小舟氏の著てあるお伽噺の起源から、敎授の實例に說及ぼし、自作のお伽噺を數十篇集めて、一冊とした面白い本て、世の子女を有せる母親も一讀の價値はあると思ふ。定價金四十五錢、郵税金八錢、

□みしん裁縫獨學　麹町裁縫女學院　實業部

シンガーミシンの名は殆んど總ての人が知つて居る。そのシンガーミシンを敎授する麹町有樂町一丁目五番地なる裁縫女學院長秦利舞子姉に依つて著はされたのが本書てある。――繁務倥偬の間に執筆致候間或は恐る粗漏の點無きにしも非らずと――斯う手紙にはあつたが粗漏どころか仲々深切に成る程獨學にはと打うなづかるゝやうに出來て居る。編纂の順序は同學院て多年敎授の實驗から割り出されたのださうだが秩序頗る整然として居る。殊に劈頭ミシンの歴史と種類の說いてあるのは面白く、各種ミシン內外部の構造が深切に說かれてあるのは嬉しい。つゞいて第四章には手縫と孔かゞり、第五章には和服の縫方、第六章には各種の裁方及び縫方が一々明細に說かれてあり、最後に製圖法と形紙のことも述べてある。尙ほ附錄として男女兒兩用簡單服以下女子インヴアネスに至る百十二圖が鮮明な寫眞版にして出してあるのは用意周到と思ふ。用紙が良いから數百の挿畫も悉く鮮明に出て居る。製本も立派に氣が利いて出來て居る。何處の家庭にも一冊づつ備へて置く必要があらう。定價は金一圓二十錢。

□獨習自在 自己催眠　芝區愛宕町一ノ二　博士書院

此書の著者古屋鐵石氏が大日本催眠術協會に於て、講習生に向つて噺した筆記を通俗的に訂正を加へたのが此本だと云ふ。自己催眠を行ふ方法から、その効果を丁寧に說き、神經病、腦病、限病、胃腸病、生殖器病等の治療法も縷述してあるから、催眠術でも自習して見やうと云ふ氣のある御方は、試みに購求して驗めして見るのも面白いと思ふ。定價は金四拾錢、菊版の九十頁、製本も瀟洒近頃催眠術の流行につれて世間に流布する、無責任な本とは違つて此れは中々爲めになる本だと云ふことを申添へて置く。

紅療診察時間
午前九時より午後四時迄
一日二十名限り

紅は百病に特効あり腦病脊髓病神經衰弱半身不隨呼吸器病消化器病脚氣リヨーマチス泌尿生殖器病花柳病其他婦人科小兒科

熟練なる醫師をして治療に從事せしむ
慢性患者には診療の上家庭療法を敎ふ
療用の紅酸は望により頒つ

東京麹町區飯田町四ノ卅二
大阪東區糸屋町一ノ五五
大氣堂
電話番町二〇四四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

和歌

―冬季ノ題―

佐々木信綱選評

天　東京　清水まつ

さるかにのむかし語をきく子らはゆめ路に入りぬ埋火のもと

評　あどけなき幾顏を見るやう也

地　岩代　長谷川よしの

月寒き霜夜の門のせゝらぎに米とぐ男の子妻はあらぬか

評　冬の月の寒さ一しほ身にしむべし

人　岡山　石川みよ子

鈴の音は野路にいそぎて夕霧のなかにおぼめく星の灯かげや

評　景色うかびいてゝすぐれたる歌

秀逸

歌麿が繪の手弱女むらさきの衣きてたてりうすゆきの窓　京都　鷺緒子

雪の日に何願ふらん少女子のちひさく泣えし柏手の音　大分　桂木靜子

しめ／＼と落葉にそゝぐ夜半の雨雪にやなりし音もきこえず　淺草　こま子

むら時雨ひとりきく夜はいとゝなほすきしむかしのこひしかりけり　横濱　鈴木まつ子

何となく人なつかしきこゝろしてみ文とり出す秋の夕くれ　廣島　金原なを子

つくろはぬ庭のかきれに咲きつれとすかたけたかき白菊の花　岐阜　小島駒子

横の戸を音なふ風の烈しきに夜半の夢さへむすびかれけり　神奈川　足立原とく

たゝひとり夕べ冷たき戸によりて淋しと聞きぬ初雁の聲　東京　柿沼菊子

甲

山も野も冬枯はてし淋しさをふりかへしたる今朝の初雪　長門　鷹田長子

ふる雪をはらひてけふも山かつがこる音たかき峰の椎柴　山口　末田竹子

おこたりのいさめとやせん梅の花寒にめげて咲ける雄雄しさ　靜岡　寶田とめ子

すゝめなく軒ばをみれば吳竹に初霜さむくおきそめにけり　堺市　全田久子

もみぢはの赤き心の玉章に又袖ぬらすまどの村雨　三河　木俣六女子

なかむれば四方の野山も枯はてゝ音のみすごき風のかせ　三重　荘司種子

埋火をかきおこしつゝ眺むれば春まちかほの庭の梅か枝　岡山　西村長子

八千くさの花野も今はうらかれて霜一といろになりにけるかな　山口　末田貞節子

あかつきの磯風寒き月かけにふときこえたり初雁の聲　東京　武田鶴子

乙

はる／＼と君たつねきてなくさめん言葉もいてす泣きとほしけり　東京　山本ふみ子

木枯のふきすさひたる海原になにをしるへの夜半の漁り火　北海道　加藤つい子

美しき花は一時の夢なれや實こそは秋の實なりけり　三河　蟹江とよ子

とくおきてあまとあくれは泉水のわたせるはしに初霜そみつ　芝區　三宅ひさ子

今朝見れは野もせに置し初霜にかへてをちらすむら鳥のあと　駿河　大井菊江

俳句

―冬季雜題―

内藤鳴雪選評

天　京都　つゆ紅

祇王寺へ二町ときゝぬ枯尾花

評　佛ももとは凡夫なり

地　京都　百合子

枯れ／＼て蓮に歎もなかりけり

評　色即是空

人　東京　栗山てい子

夕川岸に船の焚火や初時雨

評　欵乃一聲

秀逸

吹きあれて走るが如し冬の月　京都　加藤くれなゐ
一むらのしぐれも過ぎて初霰　長門　鷹田長子
堆き木の葉擬なり雨の音　石川　村北すみ子
風や御籤を取れば凶と出し　東京　小田ゆかり
馬子共の火を焚く丘の時雨哉　福井　八木千代子
御幸拜む谷間の小家も小春哉　東京　中山由子
草庵に寢さめて聞きぬ霜の音　三重　荘司種子
狂ひ女の亂れし髮に落葉かな　東京　武田つる
潮ふく鯨を月の照しけり　備後　世應龜子
葉から葉吹かれて落る木の葉哉　東京　關口きり枝
果しなき光りは雪の朝日哉　下野　黒須輝子
雪の日や君に借りたる蛇目傘　下野　黒須菊子
風や斷食堂の夜の燈　美作　石川榮代子
秋の月馬士の小唄を輝しけり　岡山　阪田元子
吹雪すや富士の裾野の一つ松　福井　飛田わさ子
寒月や塔影落ちし寺の庭　岡山　西村長子
灯さす夜學の窓に吹雪かな　東京　嶋岡とく子
室咲の梅も生けけり雪の朝　靜岡　寶田とめ子
冬の海岩嚙む波の響かな　備後　妹尾常子

讀者欄

■年も終りに近くなり候大路の有様あはたゞしう心せかるゝ頃に候。我つたなき文や詩や、紙上にのほるさへあるに、いとよき書物二冊迄はり恐縮いたし候取あへず御禮まで斯くは聞え上候、當春文壇の課題有之候にか、又詩壇課題の酉にちなみあるものは五需迄と御座候へども、用紙ははがき以外如何致すべきか、紙上の御答れぎ上候かしこ(はつ子)▲文壇課題は何時も御隨意です。別に設けませんが、前號には「好めるもの五種」と云ふ題が出てあります。用紙は貴女の常に御用ひになる葉書大の厚紙で宜しう御座います。(記者)

□先達原稿を半切に書いてはならぬとの仰せに候ひしが、何に書いてよいのか私は未だ承知いたさず候間、何卒誌上にて御教へ被下度候、山澤先生は女學會の方と同じ方に候哉、百佳選は如何なり候哉(市川みとり)

▲原稿は必ず葉書又は葉書と同じ大きさの厚紙に一定してあります。山澤先生は仰の通りです。百佳選は目下毎號二名宛發表して居ますから、追々貴女のも出ます(係)

■懸賞文宛當選御禮。瀬高やす子、阪田元子、寶田とめ子、松村壽賀子、西村長子、武田つる、桂木靜子、八木清子、小田ゆかり。(以上各通)

□女德論叢懸賞給葉書當選御禮(鈴原こと子)

■記者より。今田年子、平野たき子、鷹田長子、大井菊江、竹下かしく、清水梅子、以上の諸姉の御住所を失念致しましたので、賞品を差上る事が出來ません。どうぞ御序の節御しらせ下さい。

■瀬高やす子姉へ、先日は御手紙をありがたう御座いました。いづれ春になつて暇が出來ましたら、御返事を差上げます。

■桂木靜子姉へ。貴女の想像記は一つも當つて居りません。私は此夏髭もやめましたし、年も進ひます。それから猛鍛なぞいぢつて居る暇もありませんし、おだんごも三人前位が關の山ですから、好きとも申されません。只一つ色白の面長だけは當つてるつもりですが……。

□本號が今年中の終刊ですから、何か華々しい趣向を凝らして皆様に御目にかゝるつもりでしたが、新年號を控へて居ます爲、つい忙しいのでおヂャンになつて仕舞ひました。何れ新年號の誌上で改めて御目にかゝりませう。

ちゞれもくせも　もはへうけあい　二大奇法

妾の手がけた方で此病にて諸種の買藥して癒えぬ人悉く治りし故夫れで皆様の進めにより世間に廣く御披露せし處一人として御喜び遊さぬ方なし御問合往復はがき

女髮結師　十六　東京麴町區飯田町四の　安鄙歌子

腦病　精神病　神經病

東京府下〇龜戸町　かめゐど停車場ヨリ約十丁

加命堂腦病院

電話浪花二五五二　院長　奈良林淺次郎

院長診察月水金木前　松田醫學士診察火土前　窮者施診火木前　入院診斷隨時應需　松田林兩副長は目下當院に在勤

電本八八八(病院用)八九八(私宅用)　東京神田區駿河臺鈴木町二(御茶水橋畔)

東洋內科醫院　院長醫學士　高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町濱(停車場所在)

南湖院

河野副長は目下當院に在勤院長診察土曜日午後〇同時窮者施診副長診察月、火、水、木、金、土、午前

院長 醫學博士　榊順次郎　婦人科産科 毎日午前診察

副 醫學士　久保德太郎　婦人科的外科 外國留學中

副 醫學士　田代謹二　婦人生殖器病 泌尿器病及內科一般 火木土午後診察

●施診火木土午後一時至二時

婦人科産科榊病院

麴町三番町三三(電話番町三九五)

小兒科專門

腺病體質(瘰癧症)　小兒胃腸障害(脾疳)　腹膜炎(脹滿)　小兒皮膚病

ドクトル　メヂチーネ　長井岩雄

東京日本橋數寄屋町(呉服店外)電本百八十

內科專門　杏雲堂醫院

神田區駿河臺　電本一六六九

院長醫學博士　佐々木政吉

▲宇治茶直接小賣▼

拙家製品ノ眞價ニ就テハ世已ニ定論アリ左記手續ニヨリ注文ヲ乞フ

販賣手續

(一)無料ニテ注文シ送金ノ出來ル便法ハ御便利ノ郵便局ニテ振替貯金拂込用紙ト云フヲ受ラレ拙家ノ住所及ビ口座番號一〇〇四番等ヲ記シ其裏面ニ入用ノ茶名斤數其他ノ用事ヲ記入シ代金ヲ添ヘ差出サルレバ該金員等ハ直チニ拙家ヘ届キマス故ニ早便利デ品物ハ直チニ郵送シマス至極安全ニ便利デアリマス此ノ用紙ハ拙家ヘ御申越アレバ何枚ニテモ送リマス

(二)品物ト代金ト引替ニテハ送品シマス故ニ御入用ノ茶名斤數ハがきニテ御申越アレバ直チニ代金引替小包郵便ニテ送リマス

(三)送小包無料　代價一圓以上御注文アレバ小包料無料ニテ自辨ス臺灣及清韓トハ拙家ハ小包一個ニ付キ二十錢申受ク

經濟ヲ重ゼラルヽ婦人ハ一讀アレ

▲宇治茶製造元小包販賣ノ元祖

山城綴喜郡草内村　七碗堂　古川專太郎

振替貯金口座一〇〇四番

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮內省御用達　玉寶堂

電話下谷一特九六五番　一二四四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文

一等

私の毎日 大分 桂本節子

蜂の巣を破つたやうな子供を相手に、終日勞れた體で家に歸る、物授くまもなく僉ち先生が、お三どんと早變り、襷かけつゝ臺所に馳行き、釜の下を焚きつける暫くすると晩餐は出來上る。良人は歸ります、倶に御膳を戴く、漸く自分の體となつたので、いざや之から勉強と机に向へば、何の事はない、晝の勞が襲ふて來て他愛もなく眠ッてしまふ、もう勉強も何も有つたものではない、斯くして私の毎日は繰り返される。

評、文に髣髴の影あれど猶拾て難き趣きあり。

佳作

夕 京都 つゆ紅

落葉焚く煙に三日月の影かすみて冬乍らのおぼろ、太郎兵衛、甚六、二三本の大根負ひて行く力や、暮れ初め、平野の村御室の里は植木屋續きの柞紅葉楓紅葉松杉の常葉に交りあるは散り、あるはちりかてにゆらぐ畑の中ざはりと音して白きもの彼方につと走り過ぎぬ夕風すゞろ身にしみ、つき出す等持院の鐘胸にひゞく只見る西山は夕靄の中われも畵中の人にあらん。

評、落葉焚く煙に云々の筆つかひ凡ならず。

はかなき旅 東京 佐野くに子

「あノ清さん今一度よくなつて故郷の母樣に笑顔を見せて下さい」——如何にあはれの言葉ぞや、たゞひとり母を逝けき空に、はらからは都にきたる今、はからずも妹はこの世をあとに永眠不歸の客となりぬ。姉の心中ひとり淋しく、かく聞き給ふ母上のなげきはた幾倍思ふだ　涙は袖をひたして晩秋の空いとゞ時雨れぬ。

思ひ出 廣島 金原なを子

モゥ何日れると　正月だ、はやく來ると好い、あの着物をきて、あの帶をしめて、あのリボンさして、おゝお母樣今年は羽子板を買つて頂戴よ、などゝ樂しんで待ち焦れたのも、早や幾歲かの昔となつた、今自分は當歲の愚見を抱いて居る、リボンをとれだる頃はソヨ何時であらう。

今日のやうな朝だつた 青森 竹林秋子

三年前の夏の或日の朝は、恰度今朝のやうに雨がしとしとと降つて道が大變ぬかつて、車の輪の痕は細長い溝になつて水が溜つて居て、それに北風が吹いて寒い日であつた、こんな朝であつた、始めて此の宿屋の下女になつたのは、年は十三でまだ何も知らぬ無垢な子供であるから、何處の家も同じであらうと思ふて、學校のお友達は戀しかつたけれども、父母が家の爲にと云ふから來た、然し前の晩は人知れず泣いた。來て見るとまるで別世界である、苦しい事なんとも云はれない、いつそにげて家に歸らうかと思つた時は、しばしばであつたけれども、遂々三年過した。此の日は汚ない社會の色に染り始めの日で、一生忘れ得ぬ朝であつた。

選外佳作。三つの盆須　山内經子△石川類子△年の暮　西村長子△折にふれて　鈴木松子△愁然　黒須輝子△孤島の夫に　吉松深雪女△雪の夜　はん玉△

以上は佳什なれど紙面の都合により掲載し得ざりき。

注意　住所氏名を明記せざる者は沒書とす

新體詩

三等

黄昏 東京 齋藤靜香

夕靄は仄こだまして
何鳥か鳴きつれ渡る
羽ばたきや怪し叫ひに
丘の上いとしめやかに
椎の實のこぼるゝ響。
靜けさは再びせまる
川沿の秋さび小路
藥寶市のもどりに
唄もなくうなだれ歩む
うす靄の森を南へ
柴笛の調べもかなし
月影は峰に澄みたり

評、黄昏の淋しき趣よく現はれたり

秀逸

湖の朝 青森 萩野花子

湖の朝山はふかき
靄より頂を出しぬかすかに
見よ今し小山の下に
日はのぼりぬ、小波の音。
薄き霧きえてかすかに
湖の水紅く小波して
渡船の綱とく男
小聲に花唄うたふ。
たゞ青くうつれる
大の空、光れる小波
昔昨夜見し夢のこと
鼻唄かすかに聞ゆ。

小夜時雨 京都 露緒子

夢路に迷ひぬ紫の春の野
我覺の中に立つ時、
耳打つ絃の胸痛き響うつゝにかへりぬ。
我世人の世落魄の
絃は急げと唄ふ撃鐵の如
絕えんとして又續く時
小夜時雨。灯もゆらぎぬ。

雪の夜 東京 佐野くに子

いづこよりもれし音かや
山寺の鐘にふけ行く
外面には止みにける雪。
いづこより洩れし音かや
庭の面たゞましろなり。
雪だるま大きちひさき
弟の作れるものゝ
精ありて彼をよぶかも。

亡き人 東京 山本富子

今更乍ら恨みかな
狂はん計り泣きくづる
我をば棄てゝ君は逝きぬ、
鳥謠ふ春のあしたはた夕、
ありし昔の忘れもやらで
袖うちぬらす幾度ぞ。

折にふれて 横濱 鈴木まつ子

はだ寒く空しきねやの
夢さめて聞けばわびしや
さよ中にふく木枯の
烈しさよやるせ涙に
窓あけて御空をみれば
月影は霜あるごとく輝きぬ

岩佐病院

日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地 (電話浪花六九七番)

診察時間　自午前九時 至正十二時

内科婦人科　院主　岩佐純
内科　院長　岩佐新
外科　ドクトル 醫學士　山村正雄
産科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

シモン、クレーム

Crème Simon

川上貞奴孃 十數年來常用の 美顏化粧料 (佛國巴里シモン會社製)

「シモン、クレーム」は何故に斯く長くマダム貞奴孃に此クレーム並に粉白粉(ライスパウダー)黄色、白色(白色 鴇色)等の化粧料を日常愛用せられつゝあるか……それは「シモン、クレーム」は一種の強壯劑と皮膚を柔かくする藥劑及化學上數種の美顏料劑とを配合して十年來の實驗と緻密なる注意監督の下に精製せられたる美顏上衛生上世界無比の良品であるからであります

「シモン、クレーム」は皮膚を白くし且つ滑かにして表面がすべ〳〵となり又天鵞絨の如く艶麗ならしめ快よき香氣を發します毎日お化粧の時に御使用になれば何時迄もつやつやしき容貌を保たれます

「シモン、クレーム」はヒビ、アレ、日ニヤケ汗モ、ニキビ、唇のワレ、霜ヤケ又髯剃の後やお小供衆に塗抹ますとすべ〳〵として大變氣持ちがよく又美しくなります

東京大阪三越呉服店は本品を世界最上化粧料として今や盛んに推擧しつゝあり

各地洋品店、化粧品店にあります

日本代理店　横濱七十番　エー、ハイム商會

關西特約一手販賣　大阪市安土町四丁目　河井商店化粧品部

登錄商標

「シモン、クレーム」「粉白粉」「石鹸」共特ニ登錄商標を確めの上御購求を願ひます

烏山内科院

院長醫學士 烏山南壽次郎

午前診察 午後往診

京橋區鎗屋町十一番地 電話新橋千七百四十六番

小兒病診療

醫學士 内田愼太郎

淺草區稲井町貳番地　宅診午前 往診午後

●電話下谷七一八番

峰内科醫院

神田區西今川町三番地(電話本局三〇一九)

内科病特に腦脊髓神經疾患

院長 ドクトル メヂチーネ 峰秀世

内科一般 板垣亭

東京神田美土代町三丁目十七番地

午前宅診 午後往診

電話本局貳千九百七十番

婦人病專門 櫻井醫院

院長 櫻井克己

芝明舟町十九虎門外宮樣前 電話新橋三三二四

腰卷附婦人股引

東京勸業博覽會賞牌受領

腰卷兼用の御婦人股引で其の履き方は上圖の如く合せ目を前にして御結びになるので温く履き心地も體裁もよく決して腰冷等の憂ひなく冬季防寒實用上是れに上越すものはなし

定價中長壹圓五錢大長壹圓十五錢色白、赤、桃色、鼠、送費内地二足迄八錢五足迄以上當店持

ねびゑしらず製造發賣元　東京日本橋區ふきや町十番地(電話浪花二二二四八番)　佃屋シヤツ店

特約販賣元　東京京橋區南傳馬町貳角(電本局一八二六)　ツクダヤシヤツ店　横濱市伊勢佐木町壹　岡田屋商店

高等裁縫講義

東京裁縫女學校長渡邊辰五郎先生遺稿

菊判五百五十頁　○定價金壹圓貳拾錢　豫約特價 金七拾錢

○郵送料　東京市内四錢其他は八錢

○豫約申込は通知のみにて代金は書物出來の時にても差支なし○豫約申込者壹千人に滿つるを待ちて出版に着手すると○申込み豫定に越ゆる時は更に豫約特價を引下ぐべし

謹みて親愛なる讀者諸君に申上候今般御發布あらせられ候戊申詔勅の御趣旨を體し業を勵み儉約を守らんとするは自ら家事萬端を齊ふべき素養を修むる事最も肝要と存候例へば裁縫割烹の如き之を他に托するの不經濟は申す迄も候はず就ては此度家事の上に實用となるべき良書を撰び順次に發行し出來得る限りの廉價を以て婦人方に配布せんことを思立ち其第一着手として「高等裁縫講義」を豫約出版致すべく候何卒微意を諒とせられ知人方へも紹介せられ陸續御申込あらんことを切に希望致候

此書は日本裁縫界の泰斗故渡邊先生が十數年間大日本女學會の爲にと懇に講義されしものゝ中より粋を抜きて各家庭に必須なるものを集めしにて一書物に依りて實地に裁縫の出來るは先生の講義の外に無し」とは夙に世の定評ある所に候要目は

○袴(男子用、大人物十種子供八種、女子用、大人物九種子供物三種)○女小袖○本比翼、附比翼○單衣本襲、半襲○帶(丸帶、鯨帶、男帶)○夜具(夜着五種、布團四種、ドテラ、西洋寢衣二種、寢冷不知二種、蚊帳三種)○東コート、合羽○油單(挾箱、簞笥、長持)○改良女服(大人物子供物)○婦人用猿服○西洋前掛(○大人物子供物)○海水浴着○子供洋服(六種)○被物類及び龜の甲腹掛○足袋、脚絆、手挿、手甲○半纏、腹掛半被類

各種共一々詳細なる裁方寸法の圖解を示し懇切に縫方順序の説明あり○尚此右次に發行すべき「普通裁縫講義」には子供大人の着物、羽織、被風、股引、シヤツ等掲載可致候

東京市麹町區飯田町一丁目　愛國婦人發行所　電話番町 五百二十番 千七百四十五番

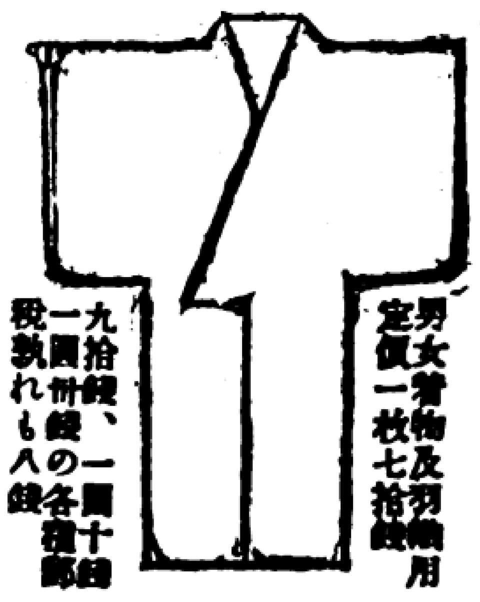
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

めりんす友禪
古渡り唐さん
其外おかなや式格安物

東京日本橋人形町通よりー丁目
赤のれん
おかなや本店
電話浪花四三四五

專賣特許及實用新案登錄

吹留眞綿


男女着物及羽織用定價一枚七拾錢 九拾錢、一圓十錢一圓卅錢の各種 税執れも八錢

衣裳中入 吹留眞綿（すゐだしとめまわた）

白木屋、松屋、銀座越後屋吳服店にて實地使用販賣其他重なる吳服店綿店にて販賣す

最上等の眞綿製其の暖さと强さは普通眞綿の二倍餘を保ち其のまゝ着物にはいる樣に出來てをりますから御一人でも自由に御取扱ひができます

又御婚禮の御祝物等にもよろしからむ

三越吳服店

御婦人腹卷　御婦人はだ着

年末年始

御親交の方々への御進物にも適當

洗濯の出來る眞綿細工

腹卷。腰卷。男女股引。肌襦袢。チヨッキ。

定價（税郵共）			
腹卷	一圓五錢	特製	一圓五十錢
腰卷	一圓六十五錢	特製	二圓
はだ着	二圓五十錢	特製	三圓
半股引	二圓五十錢	特製	三圓
チヨッキ小	二圓	大	二圓八十錢

御婦人腹卷は優良の藥入眞綿製冷より來たる男女の一般病によく特に產前產後の方によき事は醫師產婆の證明する處です

御婦人はだ着は製法薄く召した姿たもよく暖さと其着心地は無上の品にして殊に幾度びか洗濯が出來ますからいつも奇麗てをります

眞綿製ハンケチ

歲暮御年玉用には箱入壹打三圓二十錢 價は絹ハンケチ一枚に當り其體裁優美

實驗　眞綿は每夜就床前腹卷として用ひし後三四ヶ月通りし此人以來安眠する事を得所日に健康を増されつゝありと云ふ又兒女を愛む方は稱へて保養上の必要品なりと

東京丸ノ内　報知新聞社代理部

京橋區南紺屋町　實業之日本社代理部

綿問屋　東京市京橋區銀座四丁目　電話新橋一七七六　振替口座九四三二　大和屋商店

綿絲問屋　東京芝區西久保葺手町　電話新橋一五四九　さかいや商店

○受賣御望の御方は特約店へ御申込を乞ふ

REINIGUNG

腦病●心臟病●子宮病

內務省衞生試驗所試驗濟

男爵岩佐純先生有効保證

清房丁幾

血行障害ニ基ク諸病ニ特効アル新藥

上六醫院長余語盛貫先生發見調製

注意　御入用ノ方ハ郵券貳錢ヲ要ス

東京麴町區上六番町上六醫院（電話番町五つ四番）

（清房丁幾）製藥部

最上醬油

キハク印

於亞路島博覽會　名譽大賞牌受領

醸造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衛門　信號（キハク）又（ハク）

キハク印

醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店　日本橋區小網町三丁目　中野長兵衛　電話浪花五七七四

新着品

最新流行ショール

新柄　コート地　トンビ地

旅行用毛布類

●高等出來合コート及トンビ
澤山階上に陳列致置候

●右之外新着毛織物類種々陳列致候間御遊歩旁々御立寄御高覽被下度候

東京本町

中喜商店

電話本局　長七五〇　二六七五
振替口座　八〇五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

洗用ワツセル

◎此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹸曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

◎用法は湯一升に二匁(小杯へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシャツの如きは(拾貳号)入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髪は一匁五分を一升餘の湯に溶し拭してかもじを洗ふ樣に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具拭き掃除にも有効です

定價　拾貳号入 金拾五錢　六号入 金八錢　袋入二錢

東京市京橋區三十間堀三丁目　電話新橋一七一二

帝國製ワツセル日本一手販賣元　御肌洗ひこゝ香ワツセル製造元　三友商會

多年薄毛にて陳々藥を試しも効なく醫學博士令夫人より奇藥を得薄毛も濃くなり生へざる所迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……

東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

年末年始御進物用
御刺繍模樣半ゑり、帛紗、帶上、

十五日より歳暮賣出し

半ゑりはゑりまんに限る

本店　神田表神保町壹番　電話本局二八五三
出店　新橋博品館階上

歳暮年玉用品色々取揃へ申候

宮内省御用達

最上醬油之元祖

開業貳百六拾四年

醸造元　下總銚子町　濱口合名會社　振替貯金口座五〇貳壹番

最上醬油

品質ハ　印ト少シモ異リナシ

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　濱口吉右衛門

醸造元　千葉縣銚子町　濱口吉兵衛

ちれ毛赤くせ毛

白毛を未前に防ぐ特効あり

專賣特許願の藥にて妾御得意に試みし處一人として全治せぬ方なき奇藥あり困難者に上げたし往復はがきにて御照會あれ詳報す

東京市京橋區桶町四(女髪結業)山岡さだ子

日本興業銀行

東京市麹町區錢瓶町(常盤橋内)

電話本局　一、二八〇〇番　三、三〇〇番　四一番　(特)三七番　一〇二番

資本金壹千七百五拾萬圓

營業科目

一擔保附社債に關する信託業務
一有價證券其他貴重品等の保護預
一有價證券の賣買充利金の支拂及び取立
一地方債、社債、株式等の發行募集事務
一各種の信託事務
一國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一法律規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一定期預金、特別當座預金

家庭常備藥　起死回生　寶丹　旅行懐中藥

此匙は金三十錢以上の寶丹に添て贈呈す

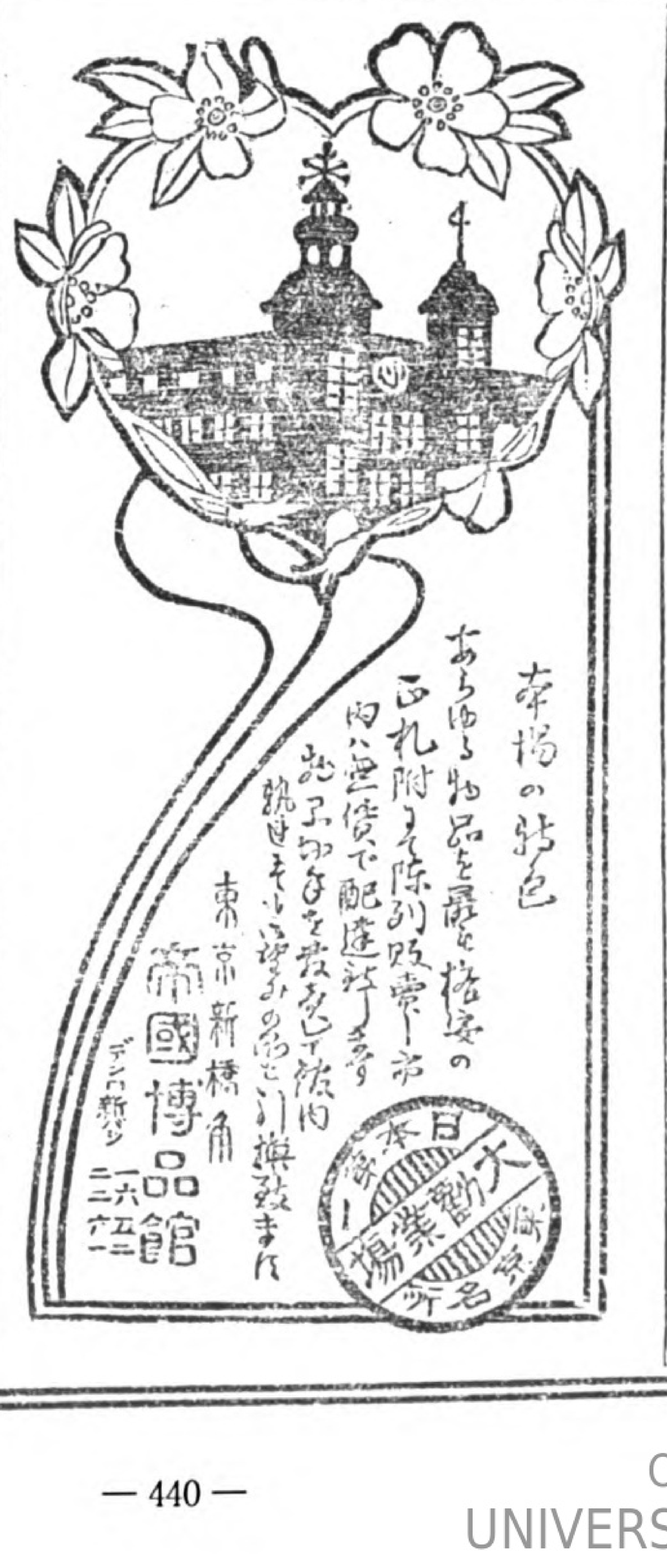
此美人の持てる寶丹の匙はおのづから十徳を具へて其利便いふばかりなし、そは服藥の用を爲すは固より云ふをまたず、かむざし、耳かき、小楊枝、子箸、筋たて、火箸、糊へら、爪さうぢ、枝折等に活用せらる、また裏面に刻せる妙の一字には千万無量の徳あれども盡しがたければ略しぬ。(木花園)

●●寶丹を少量たりとも時々に服用せば、口中を清め、胸をすかし、身心ともに爽快を覺ゆること疑ひなし、主治としては頭痛、眩暈、腹痛、下痢、四季の感冒を始め、其他の諸症に効驗ある事は今更に云ふ必要なし、これは既に實驗者諸賢の御確認あらせ玉ふ所なりと信ずればなり。

寶丹定價
家庭用……金壹圓　金貳圓　金參圓
懐中用……金廿錢　金卅錢　金五十錢
御試用……金十錢

東京上野池之端仲町

寶丹本鋪守田治兵衛



産科婦人科專門

診察毎日午前　入院随時

淺草區左衛門河岸　電話下谷一〇二八

岩田病院

○院長　ドクトル　木村順吉

京橋卅間堀一丁目角(電話新橋二六七〇番)

婦人科産科　木村病院

警告!!

類似摸造品數多あり甚きは其包裝まで摸倣したるものもあり

注意!!

タカヂアスターゼ

澱粉不消化　消化不良に原因する胃腸病中其七割五分は澱粉不消化に因するとは歐米の統計が明示せる所なり肉食人種に於て已に斯の如し然るに本邦人は專ら米飯を以て常食と爲すが故に脂肪と蛋白質は泰西のそれに比して少なく澱粉質に至つては甚だしく多量なるを見るされば消化不良中澱粉不消化病の吾國に多きは當然の事といふべし從つて唾液の作用を補佐して澱粉をよく溶化し又糖化する藥品タカヂアスターゼは吾人が常に缺く可からざる藥劑なり(說明書は直接發賣元に要求せよ贈呈す)

東京市日本橋區南茅場町二番地

三共合資會社

目方アリ大俵炭

かます入　堅土釜切炭

神田三崎川岸　戸塚商店　電本參貳〇八番

東京市日本橋區通一丁目　合名會社　森村銀行

電話(特)本局六七三番　電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月以上　年六分五厘
當座預金　百圓に付日歩　一錢
小口當座預金　同日歩　壹錢參厘

齒科治療　ドクトル　齋藤清太郎

麹町有樂町帝國ホテル向(電本千五百十九)

耳鼻咽喉病診療

入院應需

淺草區向柳原町一丁目二番地左衛門橋通り

中村醫院

電話下谷……

明治四十一年十二月廿日發行(毎月五日廿日二回)　(定價一部金五厘一ヶ月七錢郵稅不要)廣告料一行金六拾錢　編輯人 永持德一　發行所 東京市麹町區飯田町 愛國婦人會　印刷所 東京市京橋區南鍋町 株式會社隆文館　東京市牛込……

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

愛國婦人會記事

□敍勳　明治三十七八年戰役の際盡力したるを以て、本月十日岩倉會長を始め左記の通り敍勳の御沙汰ありたり。

正二位勳一等公爵岩倉具定妻　岩倉久子
敍勳四等授寶冠章
敍勳六等授寶冠章　奧村五百子
故正六位中山信安妻　中山幸子
敍勳六等授寶冠章
陸軍少將正四位勳三等功四級　佐藤正
敍勳二等授旭日重光章
以上明治卅九年四月一日

□金杯下賜　前項の敍勳と同時に左の通り金杯を下賜せらる。

從三位勳四等子爵岡部長職妻　岡部坻子
公爵近衞文麿母　近衞貞子
從二位勳一等子爵谷干城妻　谷玖滿子
正三位勳二等男爵濱尾新妻　濱尾作子
（各通）
從二位勳一等子爵清浦奎吾妻　清浦錬子
勳六等仁杉英妻　仁杉歌子
正三位勳二等法學博士山脇玄妻　山脇房子

明治卅七八年戰役の際盡力せしに付金杯一組を賜ふ。

□金銀杯下賜　前項の他、本會石川支部以下三府十五縣の各支部及本會各支部幹事部へ、金杯又は銀杯を下賜せられたり。其内分け左の如し。

△金杯一箇　石川、東京、山口、岡山、兵庫、山形、熊本、愛知、京都、長崎、大阪、富山、香川、宮城、神奈川、愛媛、群馬、滋賀、以上の各支部に何れも金杯一箇を賜はりたり。

△銀杯一組　青森、大分、北海道、福岡、高知、奈良、三重、福井、岩手、宮崎、廣島、福島、德島、佐賀、千葉、島根、鳥取、茨城、臺灣、函館、鹿兒島、和歌山、秋田、山梨、埼玉、長野、沖繩、岐阜、靜岡、新潟、栃木、以上の各支部は何れも銀杯一組を賜はりたり。

△銀杯一箇　北海道支部　札幌、檜山、壽都、岩内、小樽、空知、上川、増毛、宗谷、網走、室蘭、浦河、釧路、河西、根室、旭川、以上各市郡區幹事部

▽東京支部　荏原、豐多摩、北豐島、三宅島、麹町、神田、南足立、南葛飾、西多摩、南多摩、北多摩、小笠原島、大島、小石川、本郷、下谷、日本橋、京橋、芝、麻布、赤坂、四谷、牛込、淺草、本所、深川、以上各郡區幹事部

▽京都支部　愛宕、葛野、綴喜、相樂、乙訓、紀伊、宇治、久世、天田、加佐、與謝、中、南桑田、北桑田、船井、何鹿、竹野、熊野、上京、下京、以上各郡區幹事部

▽大阪支部　西成、東成、三島、豐能、泉北、泉南、南河内、中河内、北河内、東、西、南、北、堺、以上各市郡區幹事部

▽神奈川支部　久良岐、橘樹、都筑、三浦、鎌倉、高座、中、足柄上、足柄下、愛甲、津久井、橫濱、以上各市郡區幹事部

▽兵庫支部　武庫、川邊、印南、飾磨、有馬、明石、美囊、加東、多可、加西、加古、養父、朝來、美方、氷上、多紀、神崎、揖保、赤穗、佐用、宍粟、城崎、出石、津名、三原、神戸、姫路、以上各市郡幹事部

▽長崎支部　西彼杵、東彼杵、北高來、南高來、長崎、北松浦、壹岐、對馬島、佐世保、以上各市郡幹事部

▽新潟支部　北蒲原、中蒲原、西蒲原、南蒲原、東蒲原、三島、古志、北魚沼、南魚沼、中魚沼、刈羽、東頸城、中頸城、西頸城、岩船、佐渡、新潟、長岡、以上各市郡幹事部

▽埼玉支部　北足立、入間、比企、秩父、兒玉、北埼玉、南埼玉、北葛飾、大里、以上各郡幹事部

▽群馬支部　勢多、多野、北甘樂、碓氷、群馬、新田、邑樂、佐波、吾妻、利根、山田、前橋、高崎、以上各市郡幹事部

▽千葉支部　千葉、市原、東葛飾、海上、匝瑳、君津、印旛、山武、香取、夷隅、安房、長生、以上各郡幹事部

▽茨城支部　東茨城、西茨城、行方、稻敷、那珂、久慈、多賀、鹿島、猿島、水戸市、新治、筑波、眞壁、結城、北相馬、以上各郡幹事部

▽栃木支部　河内、上都賀、芳賀、下都賀、鹽谷、那須、安蘇、足利、宇都宮、以上各市郡幹事部

▽奈良支部　添上、山邊、磯城、宇陀、高市、北葛城、生駒、南葛城、宇智、吉野、奈良、以上各市郡幹事部

▽三重支部　桑名、員辨、三重、鈴鹿、多氣、度會、河藝、安濃、一志、飯南、北牟婁、南牟婁、阿山、名賀、志摩、津、四日市、以上各市郡幹事部

▽岩手支部　岩手、紫波、稗貫、和賀、膽澤、下閉伊、二戸、江刺、西磐井、東磐井、氣仙、上閉伊、九戸、盛岡、以上各市郡幹事部

▽青森支部　東津輕、西津輕、中津輕、南津輕、三戸、弘前、青森、下北、上北、北津輕、以上各市郡幹事部

▽山形支部　南村山、東村山、北村山、東田川、西田川、西置賜、東置賜、西村山、最上、飽海、南置賜、米澤、山形、以上各市郡幹事部

▽秋田支部　南秋田、北秋田、山本、仙北、平鹿、雄勝、河邊、由利、鹿角、秋田、以上各市郡幹事部

▽福井支部　足羽、吉田、坂井、大野、今立、大飯、福井、丹生、南條、敦賀、三方、遠敷、以上各市郡幹事部

▽石川支部　江沼、能美、鳳至、珠洲、石川、河北、羽咋、鹿島、金澤、以上各市郡幹事部

▽富山支部　上新川、中新川、下新川、婦負、富山、射水、氷見、東礪波、西礪波、高岡、以上各市郡幹事部

▽鳥取支部　岩美、八頭、氣高、西伯、日野、鳥取、東伯、以上各市郡幹事部

▽島根支部　八束、能義、飯石、簸川、安濃、邇摩、邑智、仁多、大原、那賀、美濃、鹿足、隱岐島、松江、以上各市郡幹事部

▽岡山支部　御津、赤磐、和氣、邑久、上道、兒島、都窪、淺口、小田、後月、吉備、上房、川上、阿哲、眞庭、苫田、勝田、英田、久米、岡山、以上各市郡幹事部

▽廣島支部　安藝、安佐、山縣、高田、賀茂、佐伯、蘆品、神石、甲奴、雙三、豐田、御調、世羅、深安、沼隈、比婆、廣島、尾道、吳、以上各市郡幹事部

▽山口支部　大島、玖珂、熊毛、都濃、佐波、吉敷、厚狹、豐浦、美禰、大津、阿武、下關、以上各市郡幹事部

▽和歌山支部　海草、伊都、日高、和歌山、那賀、有田、西牟婁、東牟婁、以上各市郡幹事部

▽德島支部　勝浦、那賀、海部、名西、三好、板野、阿波、麻植、美馬、德島、以上各市郡幹事部

▽香川支部　大川、木田、小豆、香川、丸龜、綾歌、仲多度、三豐、高松、以上各市郡幹事部

▽愛媛支部　溫泉、越智、周桑、伊豫、喜多、西宇和、松山、新居、宇摩、上浮穴、東宇和、北宇和、南宇和、以上各市郡幹事部

▽高知支部　土佐、幡多、高岡、吾川、長岡、香美、安藝、高知、以上各市郡幹事部

（以下次號）

□參事會　本月二日午後一時より本部樓上に於て參事會を開く來會者次の如し

濱尾作子、三輪田眞佐子、東郷鐵子、松平閑郁子、鳩山春子、山脇房子、須磨子、有島幸子以上の諸氏にして午後四時散會す。

□理事監事顧問會　本月九日午後一時より本部に於て開催し、明治四十二年度豫算並救養所の件を議す、谷子爵、清浦子爵、近衞貞子、岡部坻子、岩倉會長及佐藤事務長代務出席、午後四時散會せり。

□臨時擴張員囑托　去月三日左記の通り總裁殿下より囑托せられたり

從五位　入田一精

本會臨時擴張員を囑托す

□慰問袋に對する謝狀　本會より韓國駐屯軍隊並憲兵警察官に對し、慰問袋を寄贈せるに對し感謝の禮狀を寄する者極めて多き由は、前號にも報ぜしが、其後引續き送寄の分より二三を拔載すれば左の如し。

謹啓陳者今般本會及貴本部管內會員有志諸氏の慰問を辱し且又今回は將校並准士官一同に對し紀念品として總裁殿下御歌入り帛紗を御惠送に預り有難く拜見仕り候先は右御禮申上度如此御座候匆々敬具

十一月廿八日　步兵第四十九聯隊　將校准士官一同

愛國婦人會御中

謹啓倍々御多祥奉賀候陳者吾等在韓隊に厚き御同情を寄せられ御慰問として帛紗の御寄贈を蒙り、有難御禮申上候早速部下に御芳志傳達仕るべく先は一同に代りて御禮申述度如斯御座候敬白

步兵第二十三聯隊長　橋本三郎

岩倉久子殿

謹啓陳者近頃は寒氣殊の他相催候處、御尊家樣には益々御清榮の御事と奉賀候、降て野生儀は昨日いとも有難き御許樣の御慰問に接し、誠に〳〵有難く〳〵御慰問の品々感涙にむせびて頂戴仕り候、かく有難き御慰問に接したる時は、韓國位の寒さにては、たとへ身體は凍るとも、國家の爲にはいかでか命の惜しかるべき、御恩の程ぞ有難存候、野生は去年五月上旬暴徒討伐軍に從ひ、諸所四方の討伐に從事仕候へども、神の御影にや本日迄健康に軍務勉勵致居候、此後益身體を大切にし御慰問に報いる丈の軍功を立て、改めて御禮申すべく候先づは不取敢御禮迄

步兵第二十三聯隊第五中隊　陸軍步兵二等卒　吉田軍治

伯爵夫人東鄕鐵子樣

嚴寒御免被下度候寒冷の候御尊家御一統樣益々御清榮之段奉賀候扨ては先頃內國よりの御慰問袋我々の爲に下さるとの事聞き喜びて待居候ところ夢にも思はぬ事を伯爵家よりの慰問袋を頂戴致し今迄の苦勞も忘れ申候今や當地も折々は大雪大霜等降りて、大河も凍り人馬氷上を通行致居候未だ申上たき事海山之有候へども取敢えず亂筆乍ら御禮迄如斯御座候不一

步兵第二十三聯隊第九中隊　陸軍步兵上等兵　田代清拜

伯爵夫人阿部篤子樣

鄭重なる慰問袋御送惠に預り難有奉深謝候殊に左腕中不自由の處突然の御厚慰に接し御禮申上候、謹んで御厚慰に對し小身を犧牲に供して君國の爲に盡くし、韓國に於ける其任を全ふせん事を御誓ひ申候無學のため思ふ事述べ盡されず不悪御諒察被下度候拜復

步兵第二十七聯隊第十二中隊　伍長　佐藤石松

男爵夫人三井苞子樣

謹啓寒氣相加り候處御前樣には御變り無之益々御壯健の事と遙察仕り候陳者御前樣より御寄贈被下候慰問袋は拙者有難拜受仕候陣而拙者去三十六年徵兵として第二十七聯隊に入營仕り、三十七八年の戰役にも出征仕り大小數回の戰鬪にも負傷だも負はず無事に歸國仕又本年當國暴徒討伐の爲、派遣され目下京城に守備罷在候先は右御禮迄草々

步兵第二十七聯隊第一中隊　大澤豐次拜

有島幸子樣

拜啓陳者追々寒さ加はり候處御尊家皆々樣御健全の段奉賀候降而我々も御蔭を以て無事軍務に從事候に就き乍他事御休心被下度候過日は思もよらぬ御品澤山に御送付被下何共申方もなき次第にて有難拜受仕候其節直樣御禮狀差上可申の處勤務殊の外に多忙の爲、延引仕り候先は右一寸御禮迄皆々樣の御健全を日々祈居申候草々不一

步兵第二十七聯隊第七中隊　細谷長次郎拜

男爵夫人閑郁子樣

治療奏効疾患

半身不隨、一局部の不隨、腦胃病、子宮病、頭痛、僂麻質斯、脚氣、神經痛、打撲傷、挫傷其他醫師診斷の上必要と認むる諸症、道の遠近を問はず何時にても左記の電話又は御一報次第迅速參上可仕候
但し平引案內者を要せず

一施料はマッサージ全身五拾錢より局部三拾錢より
一鍼治は金參拾錢より
一日本按摩は金貳拾錢

神田區豐島町四十一番地
小田平吉
電話浪花二二四四番大野藥店取次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▽長野支部△

諏訪郡に於ける軍隊歡迎の狀況　今回第十三師團韓國守備の任を終へ、歸還するに當り、本郡通過に際し、聊か其將士兵卒諸氏の勞を慰さめんが爲、我愛國婦人會員は郡內六個の停車場に於て、接待の勞を取ることゝし、各驛毎に麥湯又は書狀袋を寄贈し、特に上諏訪驛に於ては甘酒清酒蜜柑麥湯等を供し、就中諏訪湖名產の「しゞみ貝」汁を供せしには、軍隊一同深く感賞せり、當幹事部長は各停車場の狀況を巡視せしに、毎回出席者は何れも三四十名を下らず、上諏訪驛の如きは七八十名多きは壹百名以上に及べり軍隊の通過は、本月二日より廿二日に至る間日數十一日回數十九回に涉り、始終一貫會員は何れも熱心歡迎事務に從事せり、斯の事たるや戰時國民一般敵愾心に熱中せる當時に在つては兎も角も平和の今日に當り特に婦女子の身を以て、夜雪を冒し、曉霜を踏み這般の事に當るは、誠に容易の業にあらざるべし、廿二日午前一時二十分通過されし五十八聯隊々長堀內文次郎氏は本會の顧問たるの故を以て痛く感激せられ、叮嚀なる挨拶を幹事部長に傳へられたり。因に當幹事部現在會員數は一千七百餘名なり。

▽米國桑港委員部△

米國桑港委員部　より今回寺澤ヨシ子他四名通常會員一時金として米貨拾七弗半(邦貨金三十五圓十五錢)を本部に送付す。

▽靜岡支部△

駿東郡幹事部　原町に於ては去月廿四日正午を期し植松氏庭園內に同町愛國婦人會員第一回總會を開き、同町委員長澤市平氏開會の辭、小學校女生徒の唱歌あり、李家支部長の告辭辻幹事部長の式辭又辻幹事部顧問の演說あり、幹事植松ゑに子の答辭、田中主事の演說等ありて午後一時式を終了し、後庭內燃ゆるが如き紅葉の間に園遊會を催し、餘興として蓄音機、自働パノラマの設ありて、午後三時散會せり、右の外當日來會者は野崎支部副長沼津町幹事隣村役員同町會員等百五十餘名にして盛會なりき。

▽山形支部△

西田川郡幹事部　去月十九日午前十時同部內軍人遺族並癈兵慰藉會を同郡鶴岡町常念寺に開き、中里委幹員事部長に代り開會の挨拶を述べ來會者一同には茶菓の饗應を爲し、又遺族並癈兵には折詰(飯壹)及菓子包一個宛を呈し、餘興は狂言講談等にして來會者は大に歡を盡して散會せり時に午後四時過なりき、當日の出席人員總數約二百五十餘名其內譯遺族六十五名癈兵貳名會員其他約百八十名とす。

因に會員山宮花子外十六名發起となり慈善販賣其他の收入を以て忠魂を慰めんが爲、桃櫻月桂樹三百餘株を、同郡鶴岡招魂社內は植付け且つ紀念として手向けの記と題せる額面を刻招魂社に奉納したりと(額面全文略す)

▽愛媛支部△

北宇和郡幹事部　部內宇和島町外二十九個町村聯合會員總會は既報の如く、去十月十一日丸穗村伊達侯爵家の扣邸天赦園に於て開會せり、當日の式場は同園內の家屋を充用し正面には　總裁殿下の御寫眞を奉置し、紫地幔幕を張り且つ前面には無數の小國旗及萬國旗を縱橫に掲揚せり、時器正午を報ずるや、土居幹事部長同顧問以下幹事委員町村長等順次着席し來賓としては篠田南宇和郡幹事部長及二神同事務員臨席し、各參會者は一同正面の廣場に整列せり。席定るや土居幹事部長は立て開會の辭を宣べ、岩倉會長祝電及安藤支部長の告辭を代讀し、篠田幹事部長の祝詞、土居顧問の演說終るや土居幹事部長答辭を朗讀し、爰に於て式全く終了、暫時休憩の後宴會を開き、餘興として福引人の素手踊等を催し、各自歡を盡して午後四時散會せり、當日の參會者は無慮四百五十名盛會を極めたり、此會合の爲、一時に百有餘名の新入會員を得、總數貳千九十八名となれり。

栃木支部遊說日誌

第二回報告　野中彌知子

下都賀郡遊說日誌

十一月四日

午前十一時宇都宮發上り列車にて中山支部長安井幹事戶田官房佐々木事務員同行、下都賀郡小山町に向ふ、零時五十五分着、吉屋幹事部長仝顧問岡田村佐藤小林幹事佐伯郡師早乙女町長丸井郡視、停車場に出迎ばれ、一同腕車を驅り右崎別莊に入り、饗餐の饗應を受け、夫より貫洲遺族備與倉吉氏を慰問し金若干を贈與し、直に會場居享氏別莊に到る、午後二時三十分開會、聽衆三百餘名、吉屋顧問開會辭、支部長の挨拶了て講話、四時三十分閉會後、前出迎はれし人々に見送られ、支部長一行は歸宮、其他は六時小山發列車にて幹事部所在地栃木町に下車、晃陽館に投宿せり。

十一月五日

午前十時中山支部長山內主事來着、茂木手塚平岩幹事部の幹事五六名、櫻井町長來訪、午後二時小學校に於て開會、聽衆九百餘名、吉屋顧問開會の辭、支部長の挨拶あり了て講話、四時三十分閉會後支部長山內氏は歸宮、自分と佐々木事務員は五時過栃木驛發列車にて足利町に向ふ六時過着、中森幹事部長仝顧問本石警察署長夫妻岩根岩下岡島武居荒井近藤小佐野足利幹事古山助役助川事務員、停車場に出迎はれ巴屋旅館に投宿せり。

足利郡遊說日誌

十一月六日

午前九時中森顧問夫妻本石警察署長夫妻岩根岩下岡島武居荒井近藤小佐野足利幹事助川佐々木兩事務員同行、機範製糸工場並に工業學校を一覽し、一先歸宿間もなく、中山支部長堀口副長植松小山幹事來着、午後一時一同足利學校を一覽し、同二時同校構內小學校に於て開會聽衆一千餘名、中森顧問開會の辭支部長の挨拶了て講話、四時三十分閉會後遺族癈兵を休憩室に集め一同茶話會を催し、支部長一行は歸宮、小山幹事は居殘り佐々木事務員と共に巴屋旅館に同宿、當日北鄕村富豪家熱心者岡由榮幹事出席、夜に至り武居幹事來訪。

十一月七日

零時廿分足利發列車にて小山幹事佐々木事務員中森顧問同夫妻本石警察署長夫妻岩根岡島武居荒井近藤小佐野足利幹事助川事務員同行御廚に向ふ臨井驛に下車、橫本村長の出迎を受け會場小學校に入る、前足利町長粘之氏も出席、午後二時開會聽衆五百餘名、中森顧問開會の辭了て講話、四時卅分閉會後遺族を休憩室に招き茶話會あり、直に臨井發列車にて一同足利に引返し巴屋旅館に宿泊せり。

十一月八日

午前十時北鄕村富豪家岡由榮顧問幹事迎の爲來着、小山幹事佐々木事務員中森顧問同夫妻本石警察署長夫妻岩根岩下岡島武居荒井近藤小佐野足利幹事助川事務員同行腕車を驅り北鄕村に向ふ十一時過着、岡由榮氏邸に入り饗餐の饗應を受け、午後二時小學校に於て開會聽衆五百餘名、岡由榮氏開會の辭中森顧問の挨拶了て講話、四時卅分閉會後遺族と共に茶菓會あり、直に中森顧問助川事務員小山幹事佐々木事務員仝行、腕車にて驅て約束し置きたる足利町に於て第一の機業家木村淺七氏(夫人幹事)邸に至り晩餐の饗應を受け機上夜學教場に於て工女百名に家庭衛生談を爲し、九時閉會巴屋に引返し宿泊

十一月九日

午前九時三和林より世取山幹事迎の爲來着、中森顧問夫妻岩根岩下岡島荒井近藤小佐野足利本石幹事助川事務員、支部より小山幹事佐々木事務員同行腕車を驅り三和村に向ふ、途中松本武助氏染工場並に岡島幹事家(夫人幹事)邸に入り搬工場を一覽し饗餐の饗應を受け急ぎ腕車にて村界板倉に到る、石川村有志者五六名の出迎を受け目的地に着せしは午後一時過、富豪家世取山幹事邸に入る、二時寺院に於て開會、昨今一般農家は恰も戰場の如き農業の時季にも拘らず聽衆八百餘名、四時四十分閉會後直に一同足利町に引返せり、世取山幹事板倉迄見送られ同町に着せしは七時過、一同巴屋旅館に於て晩餐會を催し無談快話歡を盡して散會せしは十時過なりき。

因記今回遊說會に付幹事諸氏非常に斡旋の勞を執られ、小佐野幹事金百五拾圓寄附されたり、其他にも寄附者續出の快報に接せり。

・安蘇郡遊說日誌

十一月十日

午前九時五分足利發列車にて小山幹事佐々木事務員中森顧問同夫妻岩根岩下岡島荒井近藤小佐野足利本石幹事助川事務員古山助役北鄕村富豪家岡由榮氏停車場に見送られ、佐野驛に下車するや、大塚幹事部長同顧問茂居石川古橋幹事大川事務員兩三名茂居相談役外山警察署長大川事務員、先方より迎の爲來着の島田淺野幹事新井村長停車場に出迎はれ、直に腕車を列ね、大塚幹事部長石川古橋幹事大川事務員同行目的地に着、富豪家島田雄三郎氏(夫人幹事)邸に入る間もなく、中山支部長望月幹事戶田官房來着、饗餐の饗應を受け、午後二時小學校に於て開會聽衆二百餘名、新井村長閉會辭了て講話、四時三十分閉會後支部長一行小山幹事も歸宮、自分と佐々木事務員は佐野町富豪家茂居氏邸に一泊

十一月十一日

午後九時佐野發列車にて大塚顧問茂居石川幹事大川事務員、支部より佐々木事務員同行、常盤村に向ふ、葛生驛にて下車是より腕車にて途中富豪家石澤氏邸に入り饗餐の饗應を受け、直に會場小學校に到る、間もなく支部より戶田官房來着、午後二時開會聽衆二百餘名、大塚顧問開會辭了て講話、四時三十分閉會後腕車にて五時葛生發列車にて田沼町に下車、自分と石川幹事は富豪家高澤幹事宅に宿泊、大塚顧問茂居幹事は歸佐、戶田佐々木氏は旅館

十一月十二日

午前五時卅分戶田佐々木兩氏と共に朝食前唐澤山に登山參詣、同九時大塚幹事部長茂居石川古橋幹事大川事務員來着、佐々木事務員は歸宮戶田氏更代、先方より迎の爲來着の大貫村長富豪家藍沼氏令嬢外に會員一名の案內にて三好村に向ふ、十一時着同氏邸に入り饗餐の饗應を受け、午後二時小學校に於て開會聽衆三百餘名、大貫村長閉會の辭了て講話、四時三十分閉會後直に腕車を驅り一同田沼町に引返し幹事部一行は同驛發列車にて歸佐、自分は高澤幹事宅に宿泊、因記藍沼氏は恐悴を重じ且つ慈善家にて本年八十四才の老母も一家三名特別會員なり一家舉て出席。

十一月十三日

午前九時新合村長岩上恒二郎氏岩下同警察部幹事迎の爲來着、田沼町よりは高澤顧問幹事戶田大川兩氏同行、一同腕車を列れ同村に着せしは十一時三十分、役場內客室に入り饗餐の饗應を受け、午後二時民家廣座敷に於て開會、農業の時季にも拘らず非常なる村長の熱心に因り聽衆ヵ百餘名、岩上村長閉會辭了て講話、四時三十分閉會後直に田沼町に引返し、高澤邸に入り七時四十五分同驛發列車にて栃木驛に下車、晃陽館に着せしは九時三十分比なりき。

足袋販賣廣告

一足袋は愛國婦人會東京支部授產場に於て軍人戰死者遺族並に癈兵家族の裁縫したるものにて尤も丁寧親切に調製してあります又直段も格別安く販賣致します

一足袋の地質は特に吟味しあれば直段の安き割合に丈夫に出來て居ます故御求の上御驗を願ひます

一足袋は裁縫教師として都下有名の職人を雇入れ其監督の下に出來たるものにて形も好く又穿き工合の宜しき事は昨年來既に御使用の方々の間に好評を博して居ります。

一足袋の種類は左表の外紺瓦斯織、コール天、あり外にシャツ袴下小兒胸掛(エプロン)西洋前掛等も調製販賣致します

一純白絹天足袋は美麗なる箱入てあります故御進物等には最適當と思ひます

一市內に限り十足以上は送料を申受けません

東京市麴町區飯田町九段坂下公園

愛國婦人會東京支部

授產場販賣部

電話番町五一〇、一、七四五

郵便振替口座一五、一一四

足袋販賣價格略表

文	紺濱穿底	紺石底	白木綿雲齋底	白木綿石底	白キヤラコ木綿雲齋底	白キヤラコ木綿裏紋羽雲齋底	純白絹天木綿裏雲齋底	紺キヤラコ木綿裏雲齋底
十文	廿九錢	三十錢	廿六錢	廿七錢	廿七錢	廿八錢五厘	五十錢	三十三錢
九文	廿七錢	廿八錢	廿四錢	廿五錢	廿五錢	廿六錢五厘	四十八錢	三十一錢
七文	十七錢	十八錢五厘	十五錢	十五錢五厘	十七錢	十八錢	三十六錢	廿二錢

注意　御誂別製は壹錢以上增、縫目なし貳錢增、單足袋は袷より貳錢增、爪先三枚は貳錢五厘增、裏紋羽は壹錢五厘增

○八文七分以上は半文每に壹錢增

小兒病一般

●京橋區南鍋町風月堂斜向

醫學士　福田謙之

●宅診午後(電話新四八八二)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十一年十二月廿日（毎月二回五日廿日）發行　明治三十五年三月二十七日第三種郵便物認可

愛國婦人第百六拾七號附錄

愛國婦人會靜岡支部評議員小肖

佩二等有功章尾崎かつ子　佩一等有功章小林さち子　佩二等有功章松井喜世子　佩三等有功章遠田さえ子

千谷豐子　執行菊子　片倉より子　角谷こまえ子

發行兼印刷人山澤俊夫　編輯人永持德一　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN